

令和6年度

第2回 松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会

会議録

日時 令和6年7月23日（火） 午後2時

場所 安曇野市役所本庁舎 大会議室

松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会

○ 事務局 皆様、こんにちは。

定刻になりましたので、ただいまから令和6年度第2回松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会を開催いたします。

私は、事務局を担当いたします、安曇野市教育委員会学校教育課長の上條貴芳と申します。議事に入るまでの間、会議の進行役を務めます。

本日の協議会委員の出席状況ですが、安曇野市校長会の赤羽会長、安曇野市推薦保護者代表、太田委員の2名から欠席の連絡をいただいております。29名の委員のうち27名の出席をいただいております。過半数を超えておりますので、協議会規約第8条第2項の規定により協議会が成立することをご報告申し上げます。

本日の会議は、お手元にあります会議次第に沿って進行いたします。

それでは、当協議会の会長 橋渡会長からごあいさつを申し上げます。

○ 橋渡会長 皆様、こんにちは。

本日は、ご多用の中、また、猛暑の中、第2回松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

この会場には全員お見えになっておりませんが、調査研究委員の皆様方には、本来の学校での業務がある中、教科書採択における調査研究を行っていただき、その成果がご配付させていただいた調査研究結果報告書となっております。先生方には改めて心より感謝申し上げます。また、それぞれの教科等の委員長さんには、本日の発表よろしく願いいたします。

本日の協議会では、当地区の生徒たちが来年度から使用する最もふさわしい教科書を選定していただきます。

協議会委員の皆様方の慎重なるご審議とご協力をよろしくお願い申し上げます。

簡単ではございますが、ごあいさつといたします。

○ 事務局 ありがとうございました。

それでは、規約第8条第1項に基づきまして、議長は会長が務めることになっております。ここからは、橋渡会長に進行をお願いいたします。

○ 橋渡議長 それでは、議長を務めます。

本年度は、中学校の教科書を選定いたします。

円滑な協議を図るために、あらかじめ本日の協議方法をお諮りいたします。

まず、全5回開催された調査研究委員会でまとめられた調査研究結果を、科目、種目ごとに調査研究委員長から報告していただきます。

調査研究結果の報告は、評価の高かった教科書を中心に、全ての教科書について説明をしていただきます。

選定に関わる委員の皆様は、その内容を協議して1種類の教科書を選定していただきます。
以上の方法で議事を進めたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

- 橋渡議長 特に異議がないようですので、ただいまの説明のとおり議事を進めます。

本日の議事が円滑に進みますようにご協力をお願いいたします。

それでは、協議に入ります。

最初に、協議事項1 令和7年度から使用する中学校教科用図書の選定を議題といたします。

お手元の調査研究結果報告書にある教科、種目ごとの報告書の順番は、文部科学省教科書目録の順番を考慮し、国語から始まり、書写、社会の地理、歴史、公民、地図、数学、理科、音楽一般、器楽合奏、美術、保健体育、技術・家庭、外国語英語、道徳とします。

なお、本日は16種目の教科書を選定することになりますので、会議時間の関係もあり、1種目当たりの報告を協議も含め10分程度で進めていきたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

調査研究委員長は、自己紹介の後、調査結果について報告していただきますが、以降、他の委員長も同様に報告をいただきます。

それでは、国語、報告書は1ページから5ページをご覧ください。

国語は4社から教科書見本が送付されています。

それでは、報告をお願いいたします。

- 国語委員長 国語では、主体的に学習できるか、発達段階に即しているか、評価が適切で次の学習につながるかなどの観点から調査研究を行いました。その結果、光村図書を推薦します。理由を四つ申し上げます。

一つ目ですが、報告書の2の(1)難易度の程度、2の(2)学習への関心意欲、発達段階に応じた適切性という点で十分に配慮がなされているということです。1年生が入学して、中学校の国語教室にどのような印象で入れるかというところは一番大切なところであります。

最初に出会う教材を見てみます。東京書籍、三省堂、教育出版については、5ページから8ページにわたるエッセイや物語です。どの文章も国語学習のスタートに当たるのにふさわしい内容です。一方で、漢字や語句が苦手な生徒や長い文章を読むことを苦手とする生徒は

やや抵抗を覚えるかと思われます。

光村図書ですが、最初の教材は、「野原はうたう」という詩です。全て平仮名で表記されていて、学習活動は音読を楽しむことです。ユーモラスなものから心温まるものまで、生徒にとって気持ちを寄せやすく、抵抗なく入っていける内容になっています。

その次に出てくる物語「はじまりの風」は、中学生1年生が主人公で、新しい世界に入っただけの生徒たちの気持ちと重なり、読みやすい教材と言えます。中学校の国語学習に自然に入っていけるような配慮がなされています。

2点目に、3の(6)まとめや評価についてです。1年生の文学的文章の教材で比較をしてみます。

3社の振り返りを見ますと、どれも3観点を基にした振り返りであるという点で適切であります。ただ、1、4、5については、何を手がかりにして評価したらよいかというところで具体的な評価がしづらい面がうかがえます。2、3、6については、理解に深まりのある生徒は説明や表現ができますが、書くことを得意としない生徒にはややハードルが高いかと思われます。

光村図書1年「はじまりの風」の振り返りを見てみます。「知る・読む・つなぐ」は、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点到当たります。このような評価であれば、分かったことを実際に書いたり、手がかりとした言葉や叙述を抜き出したり、図に書いてみるというように実際に振り返りがしやすい評価となっています。

昨年度まで光村図書の振り返りは、抽象的な表現で二つの観点でありました。しかし、今年度の改定で、この流れを横書きにして見やすくして分かりやすくして、振り返りも見、読む、つなぐと徐々に深めていけるように変えています。

三つ目は、2の(2)身近な題材から徐々に社会に関わる題材へ、3の(1)段階的、系統的という観点です。

説明文で光村図書を見てみると、1年生は「ダイコンは大きな根」と大変身近な話題、2年生は「クマゼミ増加の原因を探る」というもので、ヒートアイランド現象、環境問題を取り上げています。3年は「作られた物語を超えて」、アフリカのゴリラの話から真実を見る目を養うと世界を徐々に広げていきます。SDGsを意識して、気候の変動や平和など、一人一人が地球の未来について考えるきっかけとなるような教材も各学年に配置されています。文学的文章でも、このように視野を広げて考えを深めていくというような内容が見られます。

最後に、4点目ですが、2の(4)文字の大きさ、書体、行間、字間の観点です。

光村図書では、手書き文字に近い教科書体を用い、小さな文字にはUD書体を用いています。字の間、字間も少し、気持ち広めです。紙の色も、お見せすることができませんが、ややクリーム色で目に優しいものとなっています。ページ数を見ていただいても、中庸でよい分量です。読みやすさ、見やすさへの配慮がうかがえます。

他の3社の教科書ですが、東京書籍は、見開きで科学・探究、安全・防災など、未来を考える九つのテーマが示され、教材と結びつけて考えられるようになっています。国語で学んだことを日常的に生活につなげるといった形で編集がされています。

三省堂は、教科書でありながら資料が豊富です。最後の方につけられている資料編は100ページ以上の資料になっています。また、全学年で歌の歌詞など現代的な課題を題材とした教材を取り上げ、主体的な学びが喚起されるよう配慮がなされています。

教育出版は、学びナビでその教材の学習内容やポイントが本文よりも先に示されているのが特徴です。その学習の流れが先に示されているので、イメージを持って学習に入ることができます。SDGsを意識し、自らの力で問いを持ち、考えを交流し、未来を変えるための知識と力をつけることを重視しています。多様なキャラクターが配置されているのも一つの特徴です。

このように見えてくると、どの教科書もそれぞれに工夫がなされており、学習指導要領に即して編集されていますが、その中でも光村図書は、様々な点でより工夫や配慮がされているという委員の認識で、光村図書を推薦するのが適切であると意見が一致しました。

○ 橋渡議長 ありがとうございます。

これより質疑に入ります。

質問がある場合は、挙手の上、お名前を述べてから発言をお願いします。いかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

○ 橋渡議長 特に挙手がないので。

それでは、ただいま委員長から推薦がありました光村図書を選定するというご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○ 橋渡議長 それでは、国語は光村図書に決定いたします。

続いて、書写ですが、同じく4社から教科書見本が送付されています。

それでは、報告をお願いいたします。

- 国語委員長 それでは、生徒が主体的に取り組むための配慮が最もなされているという点から、同じく光村図書を推薦します。

最初に、2の(4)、3の(4)、文字や挿絵、図表などの適切さや工夫という観点で見てください。

仮名のページを比較すると分かりやすいと思います。三省堂と教育出版は、文字とその元の漢字、平仮名とその元の漢字が表記されています。そして、東京書籍は、形への支援が四角や台形であります。光村図書は、形、筆運び、点画のつながり、平仮名特有の結び、赤い丸の部分になりますが、そこについて丁寧な支援がなされており、生徒自身が主体的に取り組めるように十分な工夫がなされています。

さらに、この見開きの形で手本が他社よりも多くあります。この見開きは、ほぼ半紙の大きさと同じですので、これを横に置いてそのまま使うことができます。大概はこの半分のページなのですが、これだと先生方は割とこれをコピーして大きくして、その半紙の大きさにして使っている場合がありますが、光村図書の場合はこの見開きの状態でのものが多いので、そのまま使えます。また、右側の筆使いについて、この部分ですが、この部分に書き方のヒントがあるのも光村図書だけに見られる特徴で、細やかに配慮がなされています。

次に、書き初めの学習についてです。

光村図書は、142ページから148ページに、書き初めマスターブックとして書き初めの由来でありますとか、書き初めを書くに当たっての準備、書く方法、文字の配列、名前の書き方まで、写真をふんだんに取り入れて、生徒が家で書き初めをするに当たって丁寧な支援がなされています。

さらに、2の(1)文字、語、文、文章、書体などは発達段階に応じているかという点から比べてみます。

1年生の行書の配列を見ると、東京書籍は、「日光」、「大空」、「早春」、三省堂は、「名月」、「元気」、「探究」、教育出版は、「大洋」、「栄光」、「平和」、光村図書は、「大木」、「日光」であります。初めての行書でさんずいの運筆には難しいものがあり、三省堂も段階を踏んでいくとは言え、探究を行書で書かせるというのはなかなか難しいのではないかという意見が出ました。そういった点では、最初に書くのは「大木」が適切ではないかと考えています。

他社が三つのお手本を掲載している中で、光村図書は画数の少ない文字のお手本二つですが、164ページのところに発展的な教材がまとめて掲載されており、もっと書きたいと思っ

た生徒がチャレンジできるように工夫がされています。

また、3の(2)の硬筆、毛筆の基本的な技能が分かりやすく段階的に配列されているかに関わって、他の教科書は毛筆の後に硬筆の学習が入って1冊の教科書になっていますが、光村図書の場合は、「書写ブック」ということで硬筆だけ別冊のものがつけられているのが特徴であります。このことで毛筆と硬筆が混じることなく、装丁もすっきりしたものになり、見やすく、特性のある生徒にも混乱なく学習しやすい配慮がなされています。また、別冊であることで、家庭に持ち帰っての学習や隙間時間などで自主的に硬筆の学習ができるような工夫がなされています。

それ以外にも、光村図書と東京書籍には行書の常用漢字表だけでなく、行書の人名漢字表も掲載されていて、名前を書くときに自分で調べて書けるように工夫がなされています。

また、二次元コードからの支援や資料が充実していて、例えば、左利きの生徒についても用具の置き方や鉛筆や筆の持ち方など、動画や画像によって紹介されていて、多様性といった点からも配慮がされています。

その他の教科書ですが、東京書籍は、バランスよく作られていて、「書写の鍵」に書き方のポイントが端的にまとめられています。「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」の三つの段階で構成され、気づきから具体的な知識や技能が身につくように構成されています。読み仮名がUDフォントで低位性にも配慮がされています。

三省堂は、一番シンプルで薄くて軽いです。全体に学習の流れが最初に示されていて分かりやすい構成になっています。毛筆の後に硬筆の学習があり、毛筆の学習が硬筆に生きる構成になっています。

教育出版は、「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」、のように系列が決まっているので、同じ流れで学習を進めることができます。他の教科書より横に2.5センチ長い、AB判と大きなサイズになっています。見やすさという点ではありますが、机の上で幅をとってしまうところは賛否が分かれるところでもあります。

それぞれに短所、長所等もありますが、生徒が主体的に学べるような細やかな支援について最も配慮がされているという点から、光村図書の教科書がよいという意見にまとまりました。

○ 橋渡議長 ありがとうございます。

これより質疑に入ります。

質問がありましたらお願いします。

特にございませんか。

〔発言する者なし〕

- 橋渡議長 それでは、ただいま委員長から推薦がありました光村図書を選定するという
ことでご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

- 橋渡議長 それでは、書写は光村図書に決定いたします。

ありがとうございました。

続いて、社会の地理的分野をお願いいたします。

地理的分野は、4社から教科書見本が送付されています。

それでは、報告をお願いします。

- 社会委員長 地理的分野、4社の教科書について報告をいたします。

日本の諸地域、中部地方、産業の分野で、核となる問いに対してどうアプローチしている
かを中心に比較、検討をいたしました。

一番評価が高かったのは、東京書籍です。

東京書籍では、単元の導入を見開き2ページに、地域を大観し、大まかな様子を捉える資
料が示されています。各地域を捉える視点が明確に示されており、学習課題の解決に必要な
知識及び技能が効果的に身につくよう大変工夫されています。具体的には、導入場面から考
えた問いがイラストの吹き出しの中にあり、問いを基にして単元を貫く学習問題が設定され
るように構成されています。この思考の流れを示す丁寧な図があることが他の3社との大き
な違いです。また、その学習問題の解決に向けての視点が示されていることで、1時間ごと
の学習課題を考察しながら学習を進めていく工夫がされており、生徒が地理的分野における
見方・考え方を働かせながら、社会的事象を考察できるように配慮がされています。

単元のまとめでは、様々な思考ツールを用いて、これまでの学習を振り返りながら探究課
題について考察できるように工夫されています。単元のまとめでは、「みんなでチャレンジ」
というコーナーが設けられており、小集団で探究課題について主体的、対話的に考えながら
学習を深め合えるような工夫がされています。

続いて、教育出版です。学習の展開や見通しがつかみやすいよう、1時間見開きで2ペー
ジで授業が構成されている点が特徴です。単元の追究の視点が示され、単元を通した学習テ
ーマを軸にして、課題解決的に追究しながら、基礎的、基本的な学習活動ができるように工
夫がなされています。毎時間、産業に関わる事象についての問いがあり、考察をしていく展

開があります。単元の導入や毎時間の学習課題、重点的に配置された「THINK!」、
「学習のまとめと表現」を設け、単元を通した一連の学習となるように構成されています。

続いて、帝国書院です。単元の導入では写真などの図版が大きく提示され、図版資料の読み取りを通じて学習に対する見通しを持ち、主体的に学習が取り組めるような工夫がなされています。見開き2ページで全体の様子を大きくつかみ、単元を貫く学習問題が設定される構成となっています。単元を貫く章、節の問いや見開き1時間の授業を通した、毎時間の学習課題が明確に設定され、工夫されている点も特徴であります。

次に、日本文教出版です。全体的な特色としては、地域を6ページで大観し、大まかな様子を捉えさせるつくりとなっています。特色が分かる大きな写真が配置され、全体の様子をつかんだ後、単元を貫く問いが設定され、さらに自分で節の問いを考え、立てるという構成となっています。各時間には見方・考え方が示され、見通しを持って学習活動が行えるように構成が工夫されています。

以上4社の調査結果により、本調査研究委員会では、地理分野におきまして東京書籍の教科書を推薦いたします。

- 橋渡議長 ありがとうございます。

これより質疑に入ります。

質問、ご意見も含めてございましたらお願いいたします。

お願いします。

- 佐倉委員 東筑摩塩尻校長会の佐倉と申します。

現行の学習指導要領で大切になってくるのは単元のまとまりだと思っています。

そういった中で、社会科に限ったことではないのですが、社会科が一番分かりやすいので質問させていただくのですが、東京書籍にしても、帝国書院にしても、単元を貫く問いが分かりやすく単元ごと出ていることが調査結果からもよく分かり、他の社会科の授業の構成としては非常に分かりやすい教科書だと思っています。

その際に、調査選定理由書を読んでも、なぜ東京書籍がよくて、例えば帝国書院ではいけないのか、もう少し言うと、12採択地区で現行は令和6年度も帝国書院を使っている地区が、地理も歴史も公民もあるということを考えたときに、帝国書院と東京書籍、単元を貫く問いという視点でなぜ東京書籍がよいのかということをご説明いただきたいと思います。

- 橋渡議長 委員長。

- 社会委員長 どの教科書にも単元を貫く問いが設定されていますし、また、見方・考え方

が示されています。一番は、生徒の思考の流れを考えていったときに、東京書籍が生徒の自然な中で自分の疑問を持ったり、追究したりする中で、自分を振り返り、問いを追究しているところだと思います。

帝国書院も、構成としては同じ流れになっておりますが、教科書の資料等を見ると、生徒たちの思考の流れと資料とが少しそぐわないものがあるのではないかという意見が出てまいりまして、東京書籍を推薦したいと考えました。

○ 佐倉委員 よく分かりました。ありがとうございました。

○ 橋渡議長 他にございますか。

はい、どうぞ。

○ 青柳委員 塩尻市の青柳と申します。

委員会の判断を支持する立場で、学習のまとめのところについて読んだ感想と質問になりますが、お願いします。

学習のまとめのところで、東京書籍のものは、「みんなでチャレンジ」とか、グループ学習を促したりとか、見方・考え方を意識したりとか、あるいは教師にとっての活用のしやすさとか、生徒にとってのやってみたくなるようなものを感じたのですが、学習のまとめについて、4社について話題になったのかを伺えればと思います。

○ 橋渡議長 委員長。

○ 社会委員長 学習のまとめについては、東京書籍につきましては、まず一つ思考ツールが非常に豊富であるということ、様々な思考ツールを使いながら子どもたちが振り返り、まとめができるということが非常に評価の高かったポイントの一つだと思います。

他は、どの教科書にも少なからずありますけれども、友と共に対話を重ねながら、自分の意見を広げたり、深めたりしていくといった点で東京書籍の教科書が非常に有効ではないかということを考えました。

○ 青柳委員 ありがとうございました。

○ 橋渡議長 他にございましたらお出しください。

〔発言する者なし〕

○ 橋渡議長 それでは、ただいま委員長から推薦がありました東京書籍を選定するということでご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○ 橋渡議長 それでは、地理的分野は東京書籍に決定いたします。

続いて、社会の歴史的分野です。

9社から教科書見本が送付されています。

報告をお願いいたします。

- 社会委員長 続いて、歴史分野で9社の教科書について報告をいたします。

歴史分野の教科書については、生徒が問いを持つための導入、展開、まとめ、そういった点で生徒の思考に沿った構成となっているかどうかを中心に調査いたしました。

一番評価が高かったのは、東京書籍です。見開き1時間の授業の展開構成になっており、導入、展開、まとめまでの1時間の学習の流れが、構造的で分かりやすく、紙面が見やすい点が特徴であります。また、資料部分の背景に色を入れて、本文と資料の背景を色分けしてあります。また、QRコードを示している点も生徒にとって大変見やすく、使いやすい工夫になります。

「みんなでチャレンジ」では、小集団による対話的な活動を促しており、多様な意見や自分の考えを調整したり、まとめたりすることで主体的に思考が深められるように適切に配慮がなされています。

単元末のまとめでは、評価の3観点のアイコンを示し、学習活動と評価との関連が分かりやすくなるように適切な配慮がなされています。多様な資料や思考ツールを掲載して思考の観点を示したり、個人追究とグループ学習の手順を示し、対話活動などの学習活動を例示するなどして、歴史的な見方・考え方を働かせながら思考を深められるように適切に工夫がなされているところも大きな特色であります。

続いて、教育出版です。「学習のはじめに」で課題を捉え、「本時ページ」で課題解決、「特設ページ」で捉え直して考察、「学習のまとめと表現」で振り返り、整理、考察し、次の章へ移るという連続的に追究できるような単元構成となっています。

また、特設ページでは、「歴史を探ろう」や「身近な地域の歴史を調べよう」というコーナーで、通史学習で理解した内容を、視点を変えて捉え直して、社会的事象に対する見方・考え方を働かせる配慮がなされています。

続いて、帝国書院です。各見開きで本文、資料、側注などが統一され、導入、学習課題、本文、確認しよう・説明しようという展開で構造化され、学習の展開が分かりやすくなるように工夫がなされています。

また、時代の様子が大きく描かれた「タイムトラベル」や「世界とのつながりを考えようイラスト編」といった資料も帝国書院の教科書の大きな特色の一つであります。時代の特色

を視覚的に捉えられるような工夫、気づきや発見を生かして追究できるような工夫がなされています。

山川出版社です。本書の特色は、因果関係を重視した本文の記述や豊富な発問を通して、生徒自らが関心を持ち、主体的・対話的で深い学びができるような配慮がなされている点です。「歴史へのアプローチ」というコーナーでは、時代を通した視点やグローバルな視点で10テーマが取り上げられ、「琉球の歴史と文化」というコーナーなど、それぞれの社会的事象の関連や意味を多角的・多面的考察力を高めるためのコーナーが設けられています。

日本文教出版です。各章の終末のまとめと振り返り、チャレンジ歴史といった点が大きな特色であるかと考えます。幾つかのステップに分けた活動を提示し、時代の特色や歴史的事象について構造的に学ぶことができるように工夫がなされています。

また、「先人に学ぶ」、「各時代の女性」、「歴史を掘り下げる」などのコーナーを設けて、現代的な諸課題を理解し、課題を解決しようとする態度を育成できるような配慮もなされています。

自由社です。各章の章末に四つのページを設け、多様なまとめの問題が用意されています。「復習問題のページ」、「時代の特徴を考えるページ」です。そのほか、対話とまとめ図のページでは、基礎、基本的な知識の定着を図ることができるように、調べ学習のページでは、生徒の思考力、判断力、表現力等が育成できるような配慮がなされています。

育鵬社です。多角的・多面的に考えられるコラムや解説が多く示されています。「歴史ズームイン」、「歴史ビュー」といったコーナーで、本文の内容に関連する情報や解説が掲載され、多面的・多角的に歴史的な事象を捉えることができるように配慮がなされています。全体的な特色として、日本の美の形や歴史絵巻といったものを設け、生徒が視覚的に興味や関心を持って取り組めるような工夫がなされています。

学び舎です。指導的な立場の人物だけでなく、子どもや若者の生き方について取り上げ、生徒の関心と共感を高めながら学習できるような工夫がなされている点が大きな特徴です。男女平等や感染症、戦争、核兵器など、諸課題を主権者としてどう向き合うべきかを大切に考え、構成されています。人類の営みを大切にし、その姿から感動を引き出し、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を培える、そのような工夫がなされています。

令和書籍です。我が国の歴史の流れを詳細に解説し、深い理解を通して我が国の歴史に対する愛情や人間性の涵養を育む内容となっています。コラムの中では、天皇制と日本の歴史の関わりが分かるコラムや、社会に見られる課題や歴史的事象に対する筆者の考えが示され

ており、複数の立場や意見を選択、判断する力を養う配慮がなされています。「ディベートをしてみよう」、「ディスカッションをしよう」など議論の進め方が示され、対話的な学習を促すような工夫されたページも見られます。

以上9社の調査結果により、歴史的分野におきましては東京書籍の教科書を推薦いたします。

○ 橋渡議長 ありがとうございます。

これより質疑に入ります。

質問、意見がございましたらお願いします。

お願いいたします。

○ 小山（茂）委員 信州大学の小山です。

異議ではなく質問です。

今回の検定については、教科書の紙面のところよりも、社会科の歴史については、先ほどもご説明いただいたQRコードの裏側の検定には含まれてこない、派生的な部分の内容というのがたくさん取り込まれた教科書になっていると思うのですけれども、それぞれ各社、QRコードがついていない会社もありますけれども、その辺のところを、裏側の様々なデジタル情報についての比較というのはどうされたのかご説明いただきたいと思います。

○ 橋渡議長 委員長。

○ 社会委員長 特にQRコード、二次元コードにつきましては、東京書籍、帝国書院については明確に示されており、生徒もタブレット等を通じて簡単にアクセスできるような工夫がされているかと思います。一部の教科書は、読み物としての色合いも濃いところがありますが、そういったQRコード等の活用方法も含めて東京書籍が使いやすいのではないかと考えました。

○ 橋渡議長 他にございますか。

〔発言する者なし〕

○ 橋渡議長 それでは、ただいま委員長から推薦がありました東京書籍を選定するというところでご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○ 橋渡議長 それでは、歴史的分野は東京書籍に決定いたします。

続いて、社会の公民的分野です。

6社から教科書見本が送付されています。

報告をお願いいたします。

○ 社会委員長 公民6社の教科書について報告をいたします。

公民分野につきましても、導入、展開、まとめの一連の流れが、生徒の思考に沿って学びを深められるかという観点から考えました。

一番評価が高かったのは、東京書籍であります。本文は見開き2ページで1時間を原則にしていますが、平易で具体的な表現を用いたり、漫画やイラストなどを掲載したり、また、導入の活動として、生徒の日常生活に関連するテーマについてシミュレーションを利用した活動を取り入れるなど、生徒が学びやすい工夫が適切になされています。

「まとめの活動」では、思考を整理する様々なツールを用意して学びを深め、「みんなでチャレンジ」では、導入のシミュレーション活動からつながる単元のまとめとして、小集団での参加型学習による対話的な活動を効果的に実践できるようにするなど、一連の学習につながりを持たせ、生徒が学びやすい工夫がなされています。

また、1時間の学習の流れを見てみると、導入資料と見方・考え方を効果的に働かせて読み取る視点を示すコーナーの内容が一致している、そういった点も他の教科書とは異なる大きな特徴であり、生徒が社会的事象を多様な視点で捉えながら思考を深め、より深い学びにつながるような適切な配慮がなされていると思います。

続いて、教育出版です。各章の導入では、「ウオーミングアップ公民」として、生徒の生活経験から興味・関心を持って学習が始められることを目的に、1時間ごと写真を中心とした資料を位置づけ、読み取る視点を「LOOK!」に示して、学習の見通しが持てるように工夫されています。1時間の最後に行う表現が設定され、社会的事象や課題などに関わる説明や話し合いなど、言葉で表現したり対話したりすることで深い学びにつながるような工夫がなされています。

帝国書院です。各章ごとに「学習の前に」や「学習を振り返ろう」を活用し、習得した知識技能や、それを活用した思考、判断、表現を見取るなど、指導と評価の一体化がしやすいように適切に工夫がなされている点が大きな特徴です。「アクティブ公民」というコーナーでは、追究の際に働かせる現代社会の見方・考え方が明示され、複数の資料を読み解きながら社会の課題の解決策について考察を深められるように配慮がなされています。章の振り返りでは、図表や思考ツールを用いて自分の考えを整理し、意見交換をして考えを深められるような配慮もなされています。

日本文教出版です。各編において単元を貫く問いが示されており、学習する視点が見方・考え方として明確に提示されています。それを追究、解決するための手がかりとして1時間

ごとそれぞれ問いが設けられています。イラスト、構図、思考ツールを適材適所に用いることで、単に生徒が知識、技能の伸長を図るだけではなく、思考力、判断力、表現力の育成と学びに向かう力、人間性等の涵養が図れるように適切に配置されている点が特徴であります。

自由社です。主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養や、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に解決しようとする意欲を高められるような配慮がなされている点が特徴であります。見開き2ページに精選された資料が提示され、「ここがポイント」では、1時間の学習内容が端的にまとめられており、学習内容に立ち返るためのよりどころとなるように適切な工夫がなされています。

最後に、育鵬社であります。見本の教科書がなかったため、育鵬社の編修趣意書から作成をいたしました。身近な社会的事象を基にした導入とまとめを設定し、現代社会を自分事として捉え、社会参画の資質を育む工夫がなされています。各章の基本構成が、課題をつかむ、調べる、まとめる、問題解決型学習を行う中で、それぞれの資料をバランスよく配置し、知識・技能、思考・判断・表現の一体化が図られています。

以上の調査結果によりまして、公民的分野におきましては東京書籍の教科書を推薦いたします。

○ 橋渡議長 ありがとうございます。

これより質疑に入ります。

質問、意見がありましたら発言をお願いいたします。

お願いいたします。

○ 中川委員 最初、地理のときもそうだったのですけれども、単元を貫く問いをどのように設定をして授業を展開していくかという観点で教科書を見られたというところで、東京書籍は1時間の中の構成が非常に簡潔なので、生徒にとっても使いやすいだろうと、私は捉えさせていただいたのですが、もう一つは、日本文教出版の教科書だと単元を通して問いを貫いていくということが構成されていて、粘り強く追究がされるのではないかと説明がされたと思うのですが、その点を踏まえて東京書籍の方がよかったという、メリットが強調できるようでしたら教えていただきたいと思います。

○ 橋渡議長 委員長。

○ 社会委員長 東京書籍の教科書について先生方が魅力を感じ、授業で使ってみたいと考えられていたのが、生徒の日常生活に即したテーマが示され、そこから様々なシミュレーショ

ン等の活動を利用しながら追究に入っていけるという点です。現在も、そうした授業の中でそのような活動を様々取り組まれているかと思いますが、生徒の考えやすい問い、追究しやすい問い、自分事として自分と重ねながら追究していける、そういう教科書であるというところは、他の教科書の問いとまた違う魅力があると考えます。

○ 中川委員 ありがとうございます。

○ 橋渡議長 他にございますか。

お願いします。

○ 百瀬委員 松本市・山形村・朝日村の教育長職務代理者の百瀬と申します。

調査委員会から東京書籍の教科書がよいと説明をいただきましたが、社会科の学習をしているときに、事実は事実として学んでいくことはよいのですが、それを基にどう思考を深め、友達や仲間とどう考え、思考を深めていくかということを特に大切に考えていくときに、東京書籍の1時間の流れの中で、課題、そして追究、そして解決という流れ、子どもたちがそういった一連の学習を、東京書籍の学習ならばこれが深まっていく、そして、社会的な見方・考え方を身につけていく流れになっているのか、どのように検討されてきたのか、あるいは対話的な学習も入れながら、深まりのある学習に導いていけるような観点で、調査委員会で納得できたのか説明いただければありがたいと思います。

○ 橋渡議長 委員長。

○ 社会委員長 先ほど歴史的分野のところでも少し触れさせていただきましたが、東京書籍は、特に対話的な活動の中で思考ツールを幾つか提示されていて、それらの豊富な思考ツールを使いながら、グループや仲間と検討したり考えを深めていくといった点が、委員たちの評価を高くした観点の一つと考えています。

○ 百瀬委員 東京書籍の中で「みんなでチャレンジ」という部分がありますけれども、これも一つの対話的な学習の考え方を意識していることかと思いますが、他の会社の中でこういった学びの場所はあるのでしょうか。

○ 橋渡議長 委員長。

○ 社会委員長 帝国書院についても、思考ツールというのは用いられていると思いますが、社会科の教科書の中では使われている部分は数としては非常に少ないと捉えました。

○ 百瀬委員 東京書籍の方が、そういった中身の深まりという点では優れているということですね。ありがとうございます。

○ 橋渡議長 他にございますか。

〔発言する者なし〕

- 橋渡議長 それでは、ただいま委員長から推薦がありました東京書籍を選定するという
とでご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

- 橋渡議長 それでは、公民的分野は東京書籍に決定いたします。

続いて、地図です。

2社から教科書見本が送付されています。

報告をお願いいたします。

- 社会委員長 地図について、2社から資料が出されています。

2社の資料につきましては、地図や資料を読み取り、比較したり関連づけたりしながら、生徒たちが関心を高めて、地域的特色を読み取る工夫や配慮がなされているかどうかという観点から調査をいたしました。

まず、評価が一番高かったのは、帝国書院の地図であります。帝国書院の地図帳には「地図で発見！」というコーナーが設けられており、これによって地図帳の活用例を示したり、関連のある分野を示したりすることで、地図を活用する視点を明示しており、この問いを基に、授業の中で地図帳を効果的に活用することができるように工夫がなされています。

また、どの地域も、地図の次のページには地域の特色を示す様々なテーマ資料が示されています。同じ縮尺で並べて資料を掲載することで、関連づけて地域的特色を比較し、考察できるよう配慮がなされています。

続けて帝国書院の鳥瞰図には、各国・各州の地形や自然環境、生活・文化、歴史、産業など、様々な情報を鳥瞰図から視覚的に読み取ることができるようになっています。豊富なイラストやグラフが配置された迫力のある鳥瞰図で、生徒たちは関心を持ちながら、地域的特色を読み取れるような工夫がされていると考えます。

統計資料をご覧いただくと、帝国書院の統計資料は、明確な区切り線で分けたり、上位は赤字で示したり、また、5か国ずつ点線で区切るなど、数字の色分けや点線の区切りなどを用いることで、生徒にとって大変見やすい工夫がされています。

また、巻頭ではSDGsについて特集し、世界情勢を反映させた拡大地図や日本の防災、観光についての資料を掲載するなど、最新の社会的事象や課題について考えられるような配慮がなされています。

もう1社、東京書籍の地図については、世界や日本の諸地域に関連するテーマ資料が体裁

よくまとめられています。特徴の一つとして「Bee's eye」、ミツバチの視点といったものが設けられており、地図帳を深く読み取り、地図を活用しながら学習に取り組めるように工夫されています。

また、学習指導に関する点については、世界の生活、文化を示す写真や、土地活用の変化などを比較できる資料が豊富に掲載されており、「Bee's eye」に取り組むことで、より地図を活用しながら学習効果が高められるように工夫がされています。

全体的な特色としては、土地利用の変化を比較して思考を深められる資料が多く掲載されています。鳥瞰図等の資料の見やすさ、統計資料の読み取りやすさといった点で差があるかと考えています。

以上2社の調査により、帝国書院の地図帳を推薦いたします。

- 橋渡議長 ありがとうございます。

これより質疑に入ります。

質問、意見がありましたら発言をお願いいたします。

はい、どうぞ。

- 佐倉委員 東筑摩塩尻の校長会の佐倉です。

地図だけではなくて、社会科全体を通しての意見になるのですが、社会科の調査研究委員の先生方には、発表いただいたように地理、歴史、公民、地図という短期間でこの四つを調査していただいたことと、さらに、私も素人ながら歴史、公民については思想、信条について相当配慮しなければならない中での調査だったということで、非常に公正公平に調査をしていただいたのではないかと感じています。本当に大変な労力をいただきありがとうございました。

- 橋渡議長 ありがとうございます。

他にはございませんか。

〔発言する者なし〕

- 橋渡議長 それでは、ただいま委員長から推薦がありました帝国書院を選定するというところでご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

- 橋渡議長 それでは、地図は帝国書院に決定いたします。ありがとうございました。

続いて、数学は7社から教科書見本が送付されています。

報告をお願いいたします。

- 数学委員長 数学科の調査委員会では、数学的な見方・考え方を身につける内容となっているか、松塩筑安曇地区で行いたい授業の展開に沿ったものになっているかの二つの観点を中心に協議いたしました。

その結果、最も評価が高かったのは啓林館です。数学的な見方・考え方を意識し、生徒たちに考える楽しさを生み出す教科書となっています。

啓林館の1年の教科書の冒頭の部分では、いろいろな場面で役に立つ大切な考え方として、範囲を広げるなどの七つの見方・考え方を示しています。この七つが教科書内の各所で示され、どの見方・考え方をを用いるのか意識できるように構成されています。このことが報告書の1の(2)、3の(3)、4の(2)に示されています。1年では七つの見方・考え方でしたが、2年の教科書では八つに増えています。1年では七つ、2、3年では八つと、生徒の発達段階等を考慮して配置されています。

また、3年生の関数 $y = ax^2$ の特徴を考える場面では、3の(5)にもありますように、新出の用語を網掛けで囲んだり、まとめを枠で囲んだり、図を適切に用いたりするなど、生徒の思考を深めるのに適したデザインとなっています。

続いて、東京書籍です。教科書をそのまま授業に用いることに向いている教科書となっています。1年生の文字の式の導入の場面では、棒の本数を数えることが必要になり、それを追究していく流れになっています。このように、新しい単元に入る際には具体的な場面を基に問題場面を設定し、「Q考えてみよう」で、この単元で扱う内容に関わるような問題を提示して考えていく構成になっています。

また、この写真のように、章末の活用場面でも具体的な場面を基に問題場面を設定しています。3の(3)にあるように、示された問題を解決するために用いる数学的な見方や考え方を働かせながら、主体的、対話的に問題を解決できるよう、教科書の端に学習の流れを示し、必要に応じてグループでの活動を促しています。

大日本図書は、多様な考え方があらかじめ示され、生徒の思考を広げる教科書になっています。連立方程式の解き方を考える場面では、ここで二つの異なる考え方を示し、この後の二つの解き方につなげていきます。ここで、いきなり式を扱うのではなく、具体物を用いることでスローラーナーに配慮しています。

また、3年の平方根の利用の場面では、コピーの倍率を考えていますが、3の(1)にあるように生徒同士が話し合っている様子が取り上げられ、その内容を基に問題を解決していく流れとなっており、自然な流れで問題を考えていくことができるようになっています。

学校図書は、SDGsを強く意識し、数学と日常とをつなげられるように配慮がなされている教科書です。3年生の二次方程式の解き方を考える場面では、1の(3)にあるように、太陽電池の枚数を考える場面ですが、SDGsのアイコンが取り入れられ、生徒が日常と数学とのつながりを意識しながら学習が進められるようになっています。

また、2年生の一次関数の利用の場面では、2の(2)にあるように、冒頭にQとして問題が示され、その問題を受けて生徒が会話を進めながら解決に向かっていく構成になっています。

教育出版です。数学が苦手な生徒でも学習に向かいやすくなるような工夫がされた教科書です。2年生の一次関数の導入の場面では、2の(4)にあるように、いきなり一次関数の学習内容に入るのではなく、1年時に学んだ比例や反比例の学習内容を振り返るページが用意されており、さらに、2年生の教科書の巻末に学びのマップが用意されています。本単元を支える既習事項を確認することができます。

また、3年生の二次方程式の章末問題には、3の(6)にあるように、その問題の評価基準が示されています。

数研出版です。考え方が丁寧に示されており、生徒が自分で学習を進めていくことができる教科書です。1年の比例の特徴を考えていく場面では、2の(1)にあるように、一つの表を見た4人の生徒がそれぞれ異なる見方をしています。そして、その見方を基に学習を展開していきます。こうすることで、一人で学んでいても複数の考え方に触れることができます。

また、2年生の連立方程式の解き方を考える場面では、カーネーションの値段を考えていますが、3の(1)にあるように、次のページ以降でもカーネーションが用いられており、連続して同じ題材が用いられています。

日本文教出版です。生徒の活動を支える工夫がされた教科書です。1年生の文字の利用の場面では、2の(1)にありますように複数の考え方が示されており、生徒の思考を広げることにつながっています。図で示すだけでなく、生徒の会話によってそれぞれの考え方について補足説明がなされ、生徒が考える際の手がかりになるようになっています。

そして、3の(6)にあるように、巻末にはこの場面を考えるとときに使えるような切り離し可能なシートが用意されており、授業で活用することができます。

松塩筑安曇地区では、教科書を教える授業ではなく、十分な教師の教材研究の下で、教科書で教える授業にしたいと願っています。生徒が提示された問題を基に自ら考えを持ち、友と意見交換しながら思考を深めることを大切に考えています。

そこで、本委員会では、啓林館を推薦します。

- 橋渡議長 ありがとうございます。

これより質疑に入ります。

質問、意見がありましたら発言をお願いいたします。

お願いします。

- 中川委員 最後のところで、教科書を教えるのではなく教科書で教えるという説明は、本当に数学の先生方は魅力ある授業がうかがえた話だと思うのですが、教科書を使いながら、生徒たちがいろいろ議論しながら授業を進めていく非常に魅力的な授業と考え、それに基づく教科書ということなのですが、今回作られた教科書を見ていると、東京書籍とか数研出版のものは高校の数学の教科書と連動している形で、一人一人生徒がつまずいたときにすぐQRコードとかを使いながら、解説の動画を見たり、ワークシートを使えたりするようになっていて、それらを使いながら友達と協働していくことも工夫されていると思うのですが、数学は取り掛かりが、少しハードルが高いという生徒たちもいると思うのですが、その辺で何か調査委員会の委員からのご意見がありましたらお答えいただきたいと思います。

- 橋渡議長 委員長。

- 数学委員長 数研出版等につきましては、確かに教科書を見ることによって非常に理解がしやすい部分がありますが、啓林館につきましてもQRコードで追っていきますと、問題演習の場面で、解く場面の動画が一つ一つ丁寧に出てくる場面がありまして、問題を解くことにつまずいている生徒は、そのようなものを見ることによって個別の学習に対応していけるのではないかとということで啓林館を推薦したいと考えました。

- 橋渡議長 他にございますか。

〔発言する者なし〕

- 橋渡議長 それでは、ただいま委員長から推薦がありました啓林館を選定するということでご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

- 橋渡議長 それでは、数学は啓林館に決定いたします。

それでは、ここで休憩を取りたいと思います。

〔休 憩〕

- 橋渡議長 それでは、協議を再開いたします。

理科は5社から教科書見本が送付されています。

それでは、報告をお願いします。

- 理科委員長 本委員会では、5社の教科書のそれぞれの特徴から、報告書の観点で総合的に判断し、検討を行いました。ここでは委員が魅力を感じたそれぞれの特徴について説明します。

まず、本委員会で推薦する東京書籍の教科書について説明いたします。

東京書籍の「新しい科学」は、単元や各章ごとに「before&after」が設定されています。導入の「before」では、単元を貫く学習問題を設定し、単元末の「after」では思考の変容を確認できる構成になっております。身の回りにある事象を「問題発見レッツスタート」と設定し、これまでの経験と目の前の事象との間にずれが生まれるような場面を設定しております。これにより、自然に探求学習が進むように設定されております。

ページの構成が1時間の授業を見開きで配置されており、ページの行き来が少ないつくりとなっております。生徒の学びの発展性や連続性につながるようなつくりにもなっております。

それから、審査基準とは直接関係ありませんが、用紙の材質にも工夫されており、教科書の重量が軽くなっているのも特徴であります。

啓林館の教科書の関係です。各単元に「探Q実験」を設定し、探Qシートによって生徒の考えを直接教科書に書き込んで、主体的に話し合えるような配慮があったり、探究の振り返りを各所に配置したりして探究の流れを分かりやすく示し、誰もが探究的な学べるように工夫されています。

対話的な学びの場としては、「発表してみよう」が設けられています。発表スライドがQRコンテンツで用意されており、どの生徒でも1人1台端末を効果的に活用できるように工夫がされております。

次に学校図書「中学校 科学」の大きな特徴は、単元末に知識の確認や基本的な問題を解く活動が設定されており、巻末には補充資料や全国学力・学習状況調査の問題が配置され、資料として充実しております。

また、文字が少なめで図表も大きく配置され、デジタル教科書は多言語、総ルビ、分かち書きに対応し、全ての生徒に学びやすい工夫がなされております。

筆算につまずいた生徒用に筆算のやり方を示している部分があり、基礎基本の補充を大切にしております。また、コラム「理路整然」では、探究的な学びを深める内容も充実してお

ります。全体的に、一人でも学ぶことができるようなデジタルの仕組みが工夫されている教科書です。

教育出版の「自然の探究 中学校理科」は、マイクロスケールの実験が採用されています。これによって、授業で使用する薬品の量を減らしつつ、個人での実験や複数回の実験を可能にしております。

疑問を見つけるから始まる学習や、東京書籍の「before&after」と同じような学習前の私、学習後の私を各単元に設定するなどのことで、科学的に探究しようとする態度を養うように配慮されています。

この教科書は、他の教科書と比べると、2年生、粒子の単元をはじめ、配列が大きく異なっているのも特徴の一つになります。

最後に大日本図書の「理科の世界」は、どのような生徒にも読みやすい工夫がされています。

ページの中には、吹き出し内の文は文節で改行され、配色、フォントとも見やすいものが採用されています。特に配色に関しては、カラーユニバーサルデザインの観点で色覚の多様性に配慮しています。また、難読漢字にはルビをつけるなど、どの生徒にも見やすく使いやすいように配慮がなされています。

実験については、教育出版の教科書同様、マイクロスケールの実験手法が採用されています。挿絵も図と写真を効果的に使い分けています。

以上、5社の教科書についての見解を発表しました。それぞれの教科書にそれぞれのよさがありますが、総合的に判断し、本委員会では東京書籍の「新しい科学」を採択するよう推薦いたします。

○ 橋渡議長 ありがとうございました。

これより質疑に入ります。

質問、ご意見がありましたら、挙手の上、お名前を述べてから発言をお願いします。

はい、どうぞ。

○ 中川委員 松本市校長会、鉢盛中学校の中川です。

丁寧な報告ありがとうございました。少しでも意見を述べまして、教えていただきたいと思っています。

東京書籍で、特に理科的な見方・考え方から、「学習前に書こう」、「学習後も書こう」という思考の変容を促していると感じているのですが、他の啓林館とか学校図書は、

QRコードとか1人1台端末の運用を促している中で、東京書籍の運用を教えてくださいたいのと。

対話的に探究という理科ではとても大切にしていることだと思うので、そういう促しているところがありましたら教えてくださいたいと思います。

○ 橋渡議長 委員長。

○ 理科委員長 思考の変容を見ようということについては、教育出版の「学習前の私」、「学習後の私」ということで、同じような形で単元、終わって成長した変化と私というところの確認、評価にも入っておりますけれども、やってある部分もありますが、教育出版については、単元の配列が長野県にはあまり即していない部分がみられ、東京書籍が最適ではないかと委員会で判断をいたしました。

QRコードの実験の手順であるとか、それから、発展的な学習について動画等で大分説明があるわけですが、そのQRコードの動画で、どこまで示すかというのが理科はとても大切で、結果まで示してしまうとやりすぎで、どの辺で止めておくか、実験についてはどの辺が注意のポイントになるかといったところを的確にQRコードの動画の中で示しているのが、東京書籍ではないかと委員会で判断をいたしました。

○ 中川委員 どうもありがとうございました。

○ 橋渡議長 どうぞ。

○ 伊佐治委員 松本市教育長の伊佐治でございます。お疲れさまでした。

教えてくださいたいのは、選定される東京書籍の4の全体的な取組の二つ目に各学年の基本概念が年間を通して明確に示されることで、3年間で段階的な必要な力をつけられるとあるのですが、この各学年の基本概念が明確に示されるというのは、どのような形で教科書の中で示されているのか、具体を教えてくださいませんか。

○ 橋渡議長 委員長。

○ 理科委員長 1年生から3年生で、視点の関係がどんどん広がっていくというのが理科の基本的な単元展開になっておりますが、1年生は特に身の回りの一番近いところで探究的な学習の基本を学ぶといったところから、マクロ世界とかミクロの世界、どんどん広い世界、それから、皮膚鏡とか電子顕微鏡の世界ということで視点をどんどん移していくあたりの単元配列等が、はっきりしているところが、子どもの思考に一番近いのではないかとということで判断いたしました。

○ 伊佐治副会長 ありがとうございました。

○ 橋渡議長 他にございますか。

お願いします。

○ 赤羽（高）委員 今の伊佐治教育長と同じページです。全体的な特色の、私は上の部分ですけれども、身近な題材を取り上げ、既習概念とのずれを生じさせるということによって主体的に生徒が学ぶとあるのですが、先ほどの説明にもあったのですけれども、ずれというのはどんなふうに捉えていて、次の段階にいくのかを教えてください。

○ 橋渡議長 委員長。

○ 理科委員長 東京書籍については、導入の部分の映像にインパクトがあり、すごいとか、なぜこのようになっているのだろうと疑問を持つ、例えば、3年の地球と私たちの未来のためにという部分の写真をみると、たくさんのヤナギランが生息している場所で、眠るホッキョクグマという、イメージは北極の寒い氷の中で生活しているようなホッキョクグマが、ヤナギランが咲いている暖かいところで寝ている姿を見て疑問を持ち、そこからスタートして、地球の温暖化であるとか、考えさせていくきっかけにしていこうという部分がとても工夫されていると感じています。他にも天体の部分でも、これは地球と宇宙の最初の導入ですけれども、ジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡で捉えたへび座のわし星雲中央付近の様子映像では、宇宙にはこのようないろいろな色があって、きれいな場所がある。これはなぜだろうという疑問から、星について興味を持って進んでいくという、星というと夜空の中の点にすぎないという認識がここで大きく変わる。そういう導入のスタートについての工夫があります。

赤羽（高）委員 説明を聞いて、やはり生徒は今まで生きてきて、知らなかった新たなことに出会うというか、自分の中に、そこで問いが生まれて次の段階のいくというか、その姿が今、説明があった東京書籍のすばらしい点だと思いました。

○ 橋渡議長 他にございますか。

〔発言する者なし〕

○ 橋渡議長 それでは、ただいま委員長から推薦がありました東京書籍を選定するというところでご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○ 橋渡議長 それでは、理科は東京書籍に決定いたします。

続いて、音楽（一般）は、2社から教科書見本が送付されています。

それでは、報告をお願いいたします。

○ 音楽委員長 音楽科（一般）の選定に当たっては、2社における歌唱、創作、鑑賞各分野

について、学習目標達成に向けての活動内容、教材曲、生徒の実態に合わせた配慮、工夫点を観点とし、各社の扱いの特徴を比較、検討しました。

その結果、本調査研究委員会では、音楽（一般）について教育芸術社を推薦いたします。

それでは、教育芸術社の教科書の特徴について、項目に沿って4点報告させていただきます。

まず、目標に迫る配慮として各教材ページに学習目標が提示されており、さらに、それに迫るための具体的な活動例やポイントが示されています。これにより、生徒は主体的に学んだり、創意工夫を生かした音楽表現に挑戦したりすることができます。また、音楽を形づくっている旋律、リズム、強弱等の要素が示され、音楽の見方・考え方を働かせながら学習ができます。さらに、音や音楽と生活や文化との関わりについて考える特集や資料が多く提示されており、生活の中の音楽、文化としての音楽のように音楽を幅広く捉え、音楽に対する感性がより豊かになるような工夫がされています。

次に、学習活動については、発達段階に応じた内容が配置され、各教材で育成を目指す資質、能力を示しながら、見通しを持って学習できるような配慮がされています。学習の理解が深まるような作者からのメッセージや曲の背景についても詳しく掲載され、興味・関心が高まるような工夫があります。また、デジタルコンテンツを含む豊富な資料やキャラクターの吹き出し等により学習の流れを見通し、新たな発見をしながら主体的な学びができるように配慮がなされています。

学習指導への配慮では、美しい写真とともに、楽曲の情景や背景を思い浮かべやすい教材の選曲と系統性のある楽曲配列がなされており、活動の形態についても複数の教材から個人が選んで追究できるものや、指揮をしたり、伝統的な歌唱の謡をまねてみたりするなど、体験的な活動も多数取り入れています。「学びのコンパス」というワークシートからは、手順を示しながら段階的に学習を進め、さらに振り返り、自己評価ができます。民族音楽からジャズ、ロックまで様々なジャンルの音楽活動が紹介されており、対話しながら音楽の多様性を学び、生涯音楽を楽しんでいく教養も身につけることが可能です。

特筆すべきは、QRコードに結びつけられた創作ツールです。これまで生徒にとって高いハードルであった記譜や演奏に関わる部分が取り除かれ、直観的かつ容易に創作することができ、自分の思いや意図を生かした創作活動が可能です。

その点につきまして、QRコードによるデモを見ていただきたいと思います。少し見にくくて申し訳ありませんが、ここに「古池や蛙飛びこむ水の音」という歌詞がありますが、音

を言葉の抑揚に合わせて、今、指でタッチしながら音を選んでいくところです。このようにしるしをつけてみました。これがすぐに音で再生ができるということになっております。

〔音楽再生〕

これをリセットすると消えるわけで、こうして自分たちの創作の場合に、ここが一番のネックになっていた部分ですが、子どもたちはこうやって音を直感的に確認しながら、学びながら創作をすることができます。

実は、現行では教師用教科書にはこの機能がついていたのですが、子どもたちからこの機能が欲しいという声がたくさん上がって、今回の改訂で生徒のものにも全てこの機能がついたということです。

これらの調査から見てきた教育芸術社の大きな特色として、学習目標、活動文、音楽を形づくっている要素を大切に、三つの領域を3色に色分けしたレイアウトを使い、生徒の学習理解への配慮となっていること、生活や社会における音楽の役割、我が国や郷土の音楽等の分野にも目を向け、音楽と生活を結びつけ、音楽文化と主体的に関わっていく態度が養われる点、また、前述したデジタルコンテンツの工夫、創作以外にも、合唱において個人で音取りが可能なパート別音源や楽曲開設、ワークの使用など、350点を超える豊富なデジタルコンテンツが用意され、学びを支えられる点が挙げられます。

一方、教育出版の教科書の特徴としては、以下の点が挙げられます。教科の目標に関わって、教材曲については大変多様であり、学習の目標とともに「比べてみよう」のコーナーがあり、他の教材と形式や曲調を比較しながら音楽表現の幅が広がるような工夫がされています。

学習の活動への配慮では、学習MAPを用い、音楽の資質、能力の面から各領域相互のつながりを意識して学習に取り組めるように配慮されています。同じ構成の曲を並べて配置し、比較、聞き比べし、QRコードやワークシートを活用し、他領域とのつながりを持たせて、体験的な活動を通して、楽しみながら音楽や楽曲のよさを感じられるような工夫がなされています。

鑑賞領域では、同じ作曲家による曲や、楽曲の形式、構成を比較鑑賞する例があり、創作分野では分量も多く、楽器を使わずに味噌ラーメンの具材、例えば、もやし、チャーシュー等の言葉や、ツツツツ、ター等、擬音を使ってのリズム創作、鳥の鳴き声を使った情景表現の創作等、生徒が興味・関心を持って楽しく取り組みそうな教材が豊富にあります。

また、写真が大変鮮明で大きく掲載されており、イラストも分かりやすく、イメージを持

って表現する助けとなっています。

これら双方の特徴について比較、検討し、調査をした結果、音楽（一般）については、教育芸術社を推薦いたします。

○ 橋渡議長 ありがとうございます。

これより質疑に入ります。

質問、意見がありましたら発言をお願いいたします。

お願いいたします。

○ 中川委員 デジタルコンテンツを紹介していただいて、質問しようかと思っていたので丁度良かったです。一つだけ教えてほしいのは、音楽はどうしても教科書に載ってくる題材がいつも問題になると思うのですけれども、その辺については、抽象的には報告書には述べられているのですが、二つの教科書会社と比べたときの扱われている題材について、もう少し特徴的な部分を教えていただきたいと思います。

○ 橋渡議長 委員長。

○ 音楽委員長 教育芸術社は、割と社会や生活の中の音楽という結びつきを大切にしていると思います。

○ 中川委員 曲目の具体例を挙げてください。

○ 音楽委員長 共通教材はどちらにも同じようなものが扱われておりますが、特徴としては、例えば合唱曲は、今まで教育芸術社しか扱ってきたことがなかったものですから、教育出版は、新しい曲が多い印象を受けました。やはり楽曲も多岐にわたっておりまして、ポップスは会社によって扱いが違うという点がありますが、合唱曲に関して大差はないと考えられます。共通教材は同じでありますので、それぞれの会社の好みが出ていて、そのバックにしている作曲家、編曲者の色は大分強いという見解はありました。

○ 橋渡議長 どうぞ、お願いします。

○ 高山委員 東筑摩郡学識経験者の高山雪と申します。

委員会でのとても大変な検討の様子が分かりました。教育出版のまとめを見ると、生徒同士の対話とか、生徒同士のつながりが比較的大事にされている。教育芸術社は、個に応じたとか、個人でパートとか、そのようなまとめになっていて、本当にそのような違いなのか、最終的な決め手はやはりデジタルコンテンツの魅力だったのか、その辺を教えてください。

○ 橋渡議長 委員長。

○ 音楽委員長 そのような特色を挙げておりますが、どちらの会社におきましても全体的な

ところで個別に学んでいく、対話をして深めていくというところは、先ほども説明したとおりですけれども、「学びのコンパス」という自分たちの表現をしよう、仲間内で検討しながら話し合っていく教材もありました。ニュアンスとしますと、そういったところがピックアップされる部分はありますけれども、どちらにもそういった内容はありまして非常に悩ましいところではありましたが、やはりQRコードのデジタルコンテンツにつきましては、画期的なものであり、他にもQRコードはあるのですが、企画した部分で演奏がそのまま出ているとか、あるいは学習カードがそのまま、教科書に載っているものがそのまま出ているというような形で、この点において教育芸術社が非常に工夫されていると感じております。

- 高山委員 分かりました。ありがとうございます。
- 橋渡議長 続けてどうぞ。
- 内川委員 これまでの教科書を振り返ってみますと、かつては1曲1曲をいろんな要素から仕上げていく楽曲主義的なものだったのですが、それでいくと小学校1年から中学3年まで同じことの繰り返しで何を学んでいるのか分からないということで、要素的なところを共通の視点にしながら、一つの主題で何曲かをまとめて、主題による題材構成というようなことが言われた時期がありました。そして、その共通事項というようなことが明確に示されてきたわけです。そうした視点で見ると、例えば教育出版の一番上の部分でいうと、「他の教材と比較しながら」というところが色濃く出されていて、共通事項等の視点から幾つかの曲を比較したり、または幾つかの曲を歌唱、鑑賞、創作という領域を超えて関連づけたりしている扱いが見られます。

一方、教育芸術社は、一つの楽曲を中心に、いろんな窓口の共通事項をきちんと明確にしながらやっていくような特色を感じたのですが、これは音楽の学習、学びの対象として何を主な対象としていくのか、何を求めていくのかという考え方の違いが大きくある気がするのですが、一見、教育出版が先ほども言ったようによいように見えるのですが、それでも教育芸術社がよいという理由を説明していただきたいと思います。

- 橋渡議長 委員長。
- 音楽委員長 やはり甲乙つけがたい部分は、教科書だけを見ていきますと非常に多くあります。ただ、音楽の要素という点は、文部科学省の言葉をそのまま持ってきているところもありまして、生徒たちも曲に目が行きがちなのですから、その裏にあります要素というものをつなぎ合わせていく、そういった学びが大事なのではないかと、調査委員からもそこを大事にしていきたい、そんな学びをやってほしいというような意見は多く出されてお

ました。

- 内川委員 私も同じように考えます。私の捉えなのですが、教育出版は、そういう共通事項的な視点自体を学ぶ対象に鮮明に出してきていて、教育芸術社は、そのことは楽曲につながる窓口として一人一人、個々の見方・考え方、音楽の感受というものを大事にしている、そういった視点でこれからの教育活動も考えていってもらいたいと思います。

- 橋渡議長 ありがとうございます。

他にございますか。

〔発言する者なし〕

- 橋渡議長 それでは、ただいま委員長から推薦がありました教育芸術社を選定するということでご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

- 橋渡議長 それでは、音楽（一般）は教育芸術社に決定いたします。

続いて、音楽の器楽合奏、2社から教科書見本が送付されています。

報告をお願いいたします。

- 音楽委員長 続きまして、音楽科（器楽合奏）の発表に移ります。

選定に当たっては、一般と同様、2社における器楽分野について、学習目標達成に向けての活動内容、教材曲、生徒の実態に合わせた配慮や工夫点を観点とし、各社の扱いの特徴を比較、検討しました。

その結果、本委員会では、音楽（器楽合奏）について教育芸術社を推薦いたします。

それでは、教育芸術社の特徴について、項目に沿って4点報告させていただきます。

まず、目標に迫る配慮として、各楽器の演奏前の準備や奏法が詳細に示されており、特に中学校でよく活用されるリコーダーについては、必要な技術を段階的に身につけられるような配慮がされています。教材ごとに「学びのコンパス」のコーナーを活用し、系統性を持って主体的、協働的な学習が進められるようになっていきます。器楽に関連して、様々な種類のギター演奏の鑑賞や琴を使った日本音階を使った創作など、他領域とも絡めながら多面的な活動が仕組まれており、生徒が興味・関心を持って学習に取り組めるような工夫がされています。

学習活動への配慮としましては、まず、平易な技術で演奏できる曲から、発達段階に応じてスモールステップで学習が進められるように配慮されています。学習目標に迫るための具体的な学習活動の例やQ&A、「学びのコンパス」等でヒントが示され、生徒が主体的に活

動を進めることができます。難易度が高めの楽曲や仲間とアンサンブルができる楽曲も多数掲載があり、アンサンブルセミナーでは、発展的にパートの役割など、考えるポイントを示し、音楽的な見方・考え方を働かせながら、協働的に表現を深めることができるような工夫がされています。可読性、可視性については申し分なく、楽器の特徴や奏法が鮮明な写真やイラストで丁寧に示され、また、レイアウトがすっきりしており、楽譜に注目しやすい工夫がされています。

学習指導への配慮面では、リコーダー以外のギター、琴、三味線などについて、持ち方、姿勢、チューニングなど基礎的な事項を丁寧に扱い、生徒がステップを踏み、難易度を上げながら挑戦していける配慮がなされています。また、歌唱教材や鑑賞教材と関連させた楽譜が示され、領域を超えて学んだ作品を楽しむ工夫がされています。生徒の理解を助けたり、イメージを広げたりするQRコードにはその内容が示されており、特にカラオケ伴奏を5段階の再生速度で選択し、再生することができる機能は、個の実態に応じて弾力的な練習や演奏が可能な点は大変魅力的です。演奏や練習のポイントも記載され、自己評価しながら進んで練習に取り組めるような配慮がなされています。

これも、一部QRコードを使って伴奏の様子を見ていただきたいと思います。このようにQRコードから曲に移行するわけですが、速度が設定できて、ゆっくりやりたいお子さんは0.5倍、早めに演奏したいという場合は2倍というような設定ができ、これでカラオケ伴奏になっておりまして、

〔曲伴奏〕

これに合わせて自分でリコーダーを気持ちよく演奏していくような工夫であります。速度がついているところには少し驚かされました。授業ではこのような速度を変えていくということはよくやるのですが、個別の練習でもこのようなことが可能だということを見ていただきました。

全体的な特色としては、音楽を形づくっている旋律、リズム、速度などの要素について、学習指導要領に示された文言で記載し、音楽的な見方・考え方を働かせて活動できるような工夫がされており、丁寧に段階的にポイントを示すことで、学びの道筋を見通しながら活動ができる点が挙げられます。また、演奏家の写真やメッセージ、様々な演奏場面を多数掲載し、楽器に興味を持ったり、日常生活の中で様々な器楽による音楽が位置づけられていることに気づいたりしながら、社会と音楽を結びつけて学びを深められる点も特徴的です。QRコードにより、最新の機能を持った音楽再生など工夫しながら主体的に学習ができる点も優位

性として挙げられます。

一方の教育出版の教科書の特徴としては、以下の点が挙げられます。

教科の目標に関わる特徴として、まず、奏法や運指が大きな写真で示され、視覚的に分かりやすい点、平易な曲や生徒が喜びそうな曲など難易度やジャンルも幅広く、多くの楽曲が掲載されている点から、生徒が主体的に取り組み、段階を追いながら主体的、協働的に学べるよう工夫されています。

学習活動についての特徴としては、歌唱教材や鑑賞教材とのつながりについて、これまでの学習と関連を持たせたり、比較鑑賞をしたりしながら楽器の特徴を調べる活動が掲載され、生徒が興味・関心を持って学習が進められるよう配慮がなされています。

学習指導への配慮として、吹く楽器、弾く楽器と分類し、日本や世界の多くの楽器について比較しながら探究的に学べる工夫がされています。見る、聞く、知るに分けられたQRコードの資料を手がかりに、生徒が追究を深めていけるような工夫があり、また、生活と結びつくような自然や命、環境に結びつくような楽曲も取り上げられています。各題材の最後にはまとめの曲があり、学んだ内容について自己評価しながら学習のまとめができるような配慮がなされています。奏法や楽器の構え方についての写真やイラストは大きく鮮明で、見やすいものとなっています。

このように双方の特徴について比較、検討し、調査した結果、音楽（器楽合奏）について教育芸術社を推薦いたします。

○ 橋渡議長 ありがとうございます。

これより質疑に入ります。

質問、意見がありましたら発言をお願いします。

お願いします。

○ 川北委員 安曇野市学識経験者の川北です。

感想になるのですが、教育芸術社の3の(4)にありますQRコードのところで、5段階の再生速度というのはどのようなものかと思っていたので、聞かせていただいきとても分かりやすくよかったです。ありがとうございました。

○ 橋渡議長 他にございますか。

〔発言する者なし〕

○ 橋渡議長 それでは、ただいま委員長から推薦がありました教育芸術社を選定することでご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

- 橋渡議長 それでは、器楽合奏は教育芸術社に決定いたします。

ありがとうございました。

続いて、美術は3社から教科書見本が送付されています。

報告をお願いいたします。

- 美術委員長 本委員会では、教科の目標に照らし合わせて検討し、主体的な学び、そして目標に迫る紙面の配慮や工夫を視点に検討させていただきました。評価が高かった日本文教出版を推薦いたします。

まず、どの教科書も共通に工夫されていることを説明いたします。

一つ目、ICTの活用ができるよう二次元コードの活用で様々な工夫がされています。指導書も含め、授業に使いやすいデジタルコンテンツが各紙面に配置されています。

二つ目、持続可能な社会へ向けてSDGsの内容やインクルーシブ、他教科のつながり、社会へ開かれた美術、地域とのつながりといった視点を意識した紙面への工夫がされています。

三つ目、主体的で対話的な深い学びへ向けて、生徒が自分の主題を見だし、どのように試行錯誤しながら表現していくか、見方・考え方を深め、主体的に取り組めるような様々な工夫がされています。ただし、この3点目についてそれぞれの教科書会社の特徴が表れており、検討の視点において、この点が特に大きく評価のポイントを分ける視点となりました。

それでは、各教科書の特徴について述べさせていただきます。

開隆堂は、各題材の見出しの二次元コード、コンテンツ、学びの見通しが持てるように工夫されています。特に学びの過程を導入、知識、技能の習得、発想構想、そして、振り返りと授業の展開が示され、統一された紙面構成は、教師も生徒も分かりやすい紙面構成となっています。

そして、手触りで質感や肌触りを感じさせる表紙は、美術作品を身近に実感を持って感じさせようとする工夫が表れています。現代的な作品の鑑賞作品の掲載も、現代の生徒の興味を大きく引き出そうとする作品構成がされています。

光村図書です。巻頭ページで、美しいをテーマに詩と連動しながら生徒へ語りかけ、このテーマが一貫して3年生の巻末まで貫かれます。言葉と制作を結びつけ、言葉を通して、さらに美術の力を引き出していこうとする紙面の構成が全体に見られます。

光村図書だけ、巻末の資料と合わせて別冊の資料が用意されています。この資料が1冊に

なっていることで、様々な表現や道具、制作手順が掲載され、生徒が主体的に知識及び技能を習得できるように工夫されています。

また、教科書の紙面では、必ず導入に鑑賞作品を窓口として生徒へ問いかけ、表現のところで生徒の具体的な制作風景や言葉が掲載され、生徒が対話を通して学びにつながるよう工夫されています。

それでは日本文教出版です。今回の調査では、日本文教出版が多くの点において評価を得ました。その点も踏まえて説明いたします。

まず、3観点の目標の位置づけの良さです。学びの評価が3観点を示されていますが、思考力、判断力、鑑賞の目標の両方が示されており、目標に表現と鑑賞を往還しながら活動することを大切に示されているのは日本文教出版のみです。制作と鑑賞は、一体的で常に往還しながら働かせていくことが目標からも伝わってきます。

次に、導入の工夫のよさです。各導入部分には、題材導入の動画「学びのはじめ」の二次元コードがあり、短い動画ですが生徒の興味を引き出す動画として有効です。開隆堂の教科書でも、ページの初めに二次元コードで見通しが持てるものが示されていますが、開隆堂や光村図書は、見通しが持つ具体的な内容がかなり示されていて、生徒や教師にも分かりやすいという点ではよいのですが、方法が統一的に考えられている方向性が示されていること、かえって生徒の発想の幅を狭めてしまうことにつながります。教師も生徒も様々な素材、材料から、制作がいかに生徒一人一人の自己選択を繰り返しながら制作を進められるかが大切だと考えます。その点において、日本文教出版の掲載されている図版等は、選択幅の広さが見受けられます。

日本文教出版の教科書は、光村図書と同様、鑑賞作品から導入していきますが、生徒に考えさせる問いかけ、鑑賞の入り口、問いを大切に生徒の意思の考えを引き出す導入となっています。造形的な視点として示されているポイントも、題材における共通事項の内容とつながるように考えられています。また、表現のヒントや作者の言葉といった掲載など、試行錯誤するための問いやポイントの掲載は、主題を練り、発想や構想を広げ深めていくことにおいて、生徒が主体的に追究していく姿へとつながると考えられます。

次に、題材配列と系統性が特に発達段階を考えた構成となっているところです。特に3冊に、これは日本文教出版の特徴ですが、3冊に分冊されて、1年生から3年次まで、その該当の学年発達に応じてテーマが設けられ、学年発達において美術の学びを深めていくことができます。

1年生では美術との出会い、2年生では学びの実感と深まり、3年生では学びの探求と未来と3年間の発達に応じて見方・考え方を育み、そして、美術科の資質能力を養うことを大切にしています。短時間題材の設定がされているところも、弾力的に指導を計画できる視点が組み込まれていることが日本文教出版のよさです。

また、表紙の表裏を一体とした作品提示、表紙と見開きを関連して鑑賞できるような工夫、文字の大きさやマークの色合い、図版の示し方、鑑賞教材を実際に立てて実物を実感できるように工夫されていることが他の教科書よりも評価を得ました。

また、どの教科書もユニバーサルフォントが使用されていますが、色相環の色の示し方においては、視覚障害の生徒に配慮、色相環の分かりやすい示し方、鑑賞作品も白を基調として見やすく配置されている点においても日本文教出版の努力がうかがわれます。

光村図書と日本文教出版の色の色相環を比較しますと、どちらも同じように見えますが、黄色を主体とすることで、色覚に配慮が必要な生徒が分かりやすい図版となっているのが日本文教出版です。細かな部分の相違ですが、色や見やすさの点においても、日本文教出版は配慮が行き届いている点で評価を得ました。

光村図書は、別冊で学びの資料があることで使いやすさがあるところが議論されましたが、日本文教出版の巻末にある「学びを支える資料」は、主体的な活動を支えられるよう動画で技法を紹介され、学びを支える資料として分冊されていても十分活用できると考えます。

最後に、日本文教出版は長野県に関わる作品が掲載されています。一例として、安曇野市の和菓子を取り上げた作品、日本文教出版の二次元コードからみんなのギャラリー、生徒作品への掲載を見ますと、他の学校や他の地域で作られた作品も、それぞれの地域で作品を発掘し、掲載されています。

本委員会では、このように全体を通して評価が高かった日本文教出版の教科書を推薦いたします。

○ 橋渡議長 ありがとうございます。

これより質疑に入ります。

質問、意見がありましたら発言をお願いします。

〔発言する者なし〕

○ 橋渡議長 それでは、ただいま委員長から推薦がありました日本文教出版を選定するということでご異議はございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

- 橋渡議長 それでは、美術は日本文教出版に決定いたします。

ありがとうございました。

続いて、保健体育は4社から教科書見本が送付されています。

報告をお願いいたします。

- 保健体育委員長 保健体育では、4社の教科書について調査研究を行いました。調査の観点として、教科の目標からの配慮、生徒の学習活動への配慮、また、学習指導への配慮として、知識・技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成のバランス、他者との協働などからです。

調査研究の結果として最も評価が高かったのは、学研です。

まず、教科の目標からの配慮の三つ目、1時間の授業展開が事例を用いた「課題の発見」、「課題の解決」、「学びの活用」の構成により、見方・考え方を働かせ、生徒が主体的・対話的な深い学びに向かう工夫がなされていることが挙げられます。

1時間の授業の導入として、課題設定の前に効果的な導入の発問、ウォームアップを提示しています。生徒の小さな気づきや疑問からのスタートをし、主体的な学びを生み出す工夫がなされています。次に、何を学習するのか、学習課題を短時間で生徒に主体的に捉えさせて位置づけています。そして、最初に持った疑問や関心、教科書で学習した知識・技能、資料などを様々な情報を基に考えたり、話し合ったり調べたりするなどして、仲間と協働的に課題解決、エクセサイズを進めていきます。

最後に、1時間の中で、これまでに身につけた知識、技能や課題解決の道筋を基に取り組む課題、学びの活用を1時間の最後に設け、思考、判断、表現を重視した深い学びと生活への実践につなげていきます。

このように、全ての単元において、1時間の授業の流れが教科書に位置づいています。

次に、生徒の学習活動への配慮についてでは、一つ目に、2の(1)イラストや写真、図表が多く配置され、学習内容や学習課題への興味・関心を高め、理解を深めるための適切な配慮がなされていること。2の(2)巻頭には様々な学習方法が示され、各章末の「探究しようよ」には探究課題が設定されており、生徒の学習経験や興味・関心に応じ、探究的な課題を主体的・対話的に取り組むための適切な工夫がなされていること。さらに、2の(3)課題の発見、学びの活用で、生徒にとってより身近な生活場面を考えることができ、また、各自自治体の写真や関係機関の資料を「章デジ」に外部リンクで示し、生活等との関連を捉えながら学習できる適切な配慮がなされていることが挙げられます。

続いて、学習指導への配慮についてでは、一つ目は、3の(2)キーワードで見る保健体育の学習内容には、見開きの表により、体育実技・各教科との関連を捉えることができる適切な工夫がなされていること。3の(3)多様な学習方法と探究課題、課題に応じて働かせる見方・考え方が示され、課題の解決、学びの活用、「探究しようよ」など、主体的に相互に関わり合いながら活動に取り組める適切な工夫がなされていることが挙げられます。

最後に、全体的な特徴として、単元の導入から学習課題の明確化、中間の課題解決、終末の学びの活用までの流れが一貫しており、探究課題も多く示され、生徒が主体的に自ら考え、探究的に学習を進めることができるよう工夫がなされていること、また、相互に関わり合いながら、対話的かつ協働的な学習となるように課題の解決、学びの活用、実習、「探究しようよ」の課題の工夫がなされていることが挙げられます。以上が学研についての報告です。

他の教科書についての特色を報告します。

東京書籍では、1ページに四つのステップが統一された配置になっており、学習の見通しが共有でき、主体的な学びとなるように工夫がなされていること、また、教育のICT化に対応したQRコンテンツが多数用意され、生徒が視覚的に学習内容を捉え、学びの効果を高める工夫がなされたりしている点が特徴です。

続いて大日本図書です。大日本図書では、本文と資料を分けることで本文部分に注意が向けられ、文章に集中しやすく、参照すべき資料がまとまっているため、活動に集中しやすいよう配慮がなされていること、また、実習で使いやすい折り込み資料は、教科書を広げて全体を確認しながら進めることができるように工夫がなされている点が特徴です。

大修館書店です。大修館書店では、保健体育の見方・考え方を働かせ、巻頭・巻末資料や特集資料の工夫がなされていること、また、3ステップのシンプルな学習過程で構成され、見通しを持って主体的に学習が進められるように工夫がなされている点が特徴と言えます。

以上のことを踏まえ、総合的に判断し、学研を本委員会では推薦したいと思います。

○ 橋渡議長 ありがとうございます。

これより質疑に入ります。

質問、意見がありましたら発言をお願いします。

お願いします。

○ 碓井委員 塩尻市教育長職務代理者の碓井と申します。

質問を2点お願いします。

1点目は、学研のQRコードからのコンテンツサーチという点についてです。

私も試してみたのですが、試した限りでは、東京書籍と比べてコンテンツの数が少なく、すぐに見つからない、そういうものもあって、見やすさ、分かりやすさではいまいちと感じましたが、そのような点について委員会ではどのような検討をされたのか、お聞きできればと思います。

それから、2点目は、教科書の構成という点について、それぞれの教科書は、学年ごと体育編・体育理論から保健編の構成と、保健編から体育編で構成されている教科書があるわけですが、その辺の検討はされたのかという点についてお聞きしたいと思います。特にこのことについては、現在は東京書籍を使っているのですが、東京書籍は保健編から体育編の構成、学研は体育編から保健編で構成されていますが、その意味をどのように捉えられているのかという点をお聞きしたいと思います。

○ 橋渡議長 委員長。

○ 保健体育委員長 まず、1点目のQRコンテンツについてですが、ここ数年、東京書籍を扱ってきたというところがあります。東京書籍は、QRコンテンツがとても充実しているというところは一つの特徴ではありますが、東京書籍は、どの単元をQRコンテンツで広げて見ても、全て分かりやすさはあるのですが、その動画あるいは資料そのものでその1時間の学習が全て分かってしまうような傾向があります。1時間の中で子どもたちが必要なときに必要な内容を取り出してくるという意味では、学研もQRコンテンツをかなり導入しているのですが、そこは多くのものを導入するのではなくて、子どもたちの興味・関心があるものについて膨らませる、そういうものを学研は用意しているところだと思います。その違いがあります。

二つ目の教科書の構成ですが、体育理論、保健体育という構成のあり方について、東京書籍と学研は、構成の中身についてはつながっていると思います。ただ、内容的にどちらを先に持ってくるところについては、調査委員会ではその順番については深く検討してはおりません。ただ、内容的に学研が、体育理論と保健体育の中身についてよりお互いに関わり合って、つながっている構成をつくり上げていることは確かだと思います。

○ 碓井委員 ありがとうございました。

2点目の教科書の構成という点について、私も学研については、スポーツと健康をより深く広く捉えてほしいという願いが感じ取れました。

それで、今使っている東京書籍と新たに採択したい学研について、少し私なりの考えを述べさせていただいてもよろしいでしょうか。

○ 橋渡議長 はい、どうぞ。

○ 碓井委員 東京書籍は、全体的な特色に記述されているように、ICT化に対応したデジタルコンテンツが豊富に用意されている教科書であると思います。また、QRコンテンツの中には、考えを深めるための思考ツールや、状況をシミュレーションできるものもあり、子どもたちは興味を持って学習できるのではないかと思います。したがって、この教科書は、情報活用能力を高めながら、個別最適な学びができる可能性を多く持っている、私は見させていただきました。また、各時間の最後に、活用する、広げるというような部分が載せられていて、探究的な学習への道も開いているというようなことも感じました。

それから、今回採択したいという学研の教科書は、全体的な特徴のところにも記述されているように、各章のまとめに探究しようという言葉で探究的な学習例が示されていて、その方向が色濃く出されている、そういう教科書であると思います。探究という点では、かなり工夫がなされていると思います。また、各教材に情報サプリーという部分があり、現代的な課題や実態を載せていて、学習に役立つ内容と感じました。ただ、先ほども質問させていただきましたけれども、私が試してみたQRコードからのコンテンツ探しでは、東京書籍に比べると少なく、すぐに見つけられないところもあって、見やすさ、分かりやすさではいま一歩と感じた部分もありました。

以上のようなことを感じているのですけれども、現場で使いやすく、子どもたちにより今後必要な保健体育の力をつけていくのにふさわしいということであれば、委員会での調査研究結果を尊重していきたいと、私は思います。

○ 橋渡議長 ありがとうございます。

このことに関連してのご意見はございますか。

〔発言する者なし〕

○ 橋渡議長 それでは、ただいま委員長から推薦がありました学研の教科書は、これまで使用している東京書籍から変更ということですが、現場の先生方が、この地域の子どもたちに学研の教科書を使わせたいということで特色を発表していただきました。結果この学研を選定するということで皆様方の異論はないということでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

○ 橋渡議長 ありがとうございます。

それでは、保健体育は学研に決定いたします。

ありがとうございます。

続きまして、技術・家庭科の技術分野は3社から教科書見本が送付されています。

報告をお願いいたします。

- 技術・家庭副委員長 どの教科書にも調査観点に従って一通り調査をしたところ、教科書会社ごとに一番特色が出ている採択基準は、教科の目標からの配慮の部分でした。

最も評価の高かった東京書籍から報告します。

原理、法則や基礎的な仕組みから、知識及び技能が身につくように配慮されているか、東京書籍は、ガイダンスの部分が最も丁寧でページ数を割いて構成されています。例えば、教科書の構成は見開きページで統一されており、学習の目標、学習課題、最後の振り返りをはじめ様々な情報が盛り込まれ、機能的になっていることを理解することができます。1年生の最初、初めてこの教科の学習と出会う段階で、技術分野の見通しを十分に持って学習を進められます。

中でもデジタルコンテンツが充実していると言えます。動画のコンテンツだけでなく、シミュレーションや思考ツール、ワークシートといった、これまで教師が用意し、配布していたものを、子どもたちの1人1台タブレット端末から直接アクセスすることができます。

技術の見方・考え方を働かせて問題解決に取り組む、東京書籍では、社会からの要求、安全性、環境への負荷、そして経済性を最適化させることと定義していて、それを分かりやすくイラスト等を使って視覚的に捉えることができます。

ガイダンスにおいて、何のために技術を学ぶのかをはっきり考えてから、問題発見、問題解決の流れや道筋を丁寧に示し、テーマに即した学習の進め方や学び方が分かりやすくなるように適切に配慮されていると言えます。

知識の手がかりとして「技術のとびら」、技能の手がかりとして「Tech Lab」、どちらも学習を深めるためのページですが、科学的な根拠に基づいて知識及び技能が身につくように配慮がなされています。写真や動画は、生徒の視点、生徒が作業している方向から確認できるものが多く使われています。

それから、東京書籍は他の教科書に比べて問題解決学習に特化していると考えます。その一つに多様な問題解決例が掲載されており、生徒の問題解決の手がかりになり得るものとなります。

どの教科書にも各編の終わりには学習のまとめが配置されていますが、評価の3観点に沿って、「学習したことを確かめよう」は、知識・技能です。「考えを深めよう」は、思考・判断・表現です。「生活に生かそう」は、主体的に学習に取り組む態度、この「生活に生か

そう」は、ここを振り返っているのは東京書籍のみでした。

「すごいぞ技術」、「技術の匠」のページでは、今日の社会で問題にされている課題に取り組んでいる例を紹介することで、興味・関心が高まるように配慮がなされています。

学校での技術の学習にとどまらず、科学技術、産業技術の視点から技術ガバナンス、消費者としてどのように使いたいかを考える「ニーズ」、そして、技術イノベーション、未来の開発者としてどんな開発をしたいのか「シーズ」、両面から自己を振り返る部分が工夫されています。まさにタイトルにある「未来を創るTechnology」を主体的に学ぶ工夫がなされています。

教育図書ですが、ガイダンス的なものは初めに配置にしてありません。各編ごとにガイダンス的な内容があり、ただ、問題解決についてはその章の入り口に4コマ漫画で分かりやすく工夫されています。別冊で「スキルアシスト」があり、知識・技能の未定着な部分があった際に、自分から容易にアクセスできるものが工夫されています。

開隆堂ですが、各編の扉に技術革新の歴史が必ず掲載されています。どういう経緯で今の技術があり、それを学ぶ中で今後どんな技術発展があるのかを見通して学習に臨むことを配慮しています。情報が多い印象がありますが、最新の技術を教科書に落とし込んでいて、前回の教科書よりもアップデートがとても多い教科書になっています。

以上、他社のよい点も含めて総合的に判断したところ、本委員会としては東京書籍を推薦します。

- 橋渡議長 ありがとうございます。

これより質疑に入ります。

質問、意見がありましたら発言をお願いいたします。

〔発言する者なし〕

- 橋渡議長 それでは、ただいま副委員長から推薦がありました東京書籍を選定することでご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

- 橋渡議長 それでは、技術分野は東京書籍に決定いたします。

ありがとうございます。

続いて、技術・家庭科の家庭分野は3社から教科書見本が送付されています。

報告をお願いします。

- 技術・家庭委員長 中学校技術・家庭科の家庭分野の教科書について報告させていただき

ます。

調査対象の検定済み教科書は、東京書籍、教育図書、開隆堂の3社です。

教科の目標に関わる観点から調査をいたしましたところ、3社とも学習指導要領で示された目標や内容を的確に捉え、実践的・体験的な活動を取り入れながら日常生活に必要な基礎的な理解や生活をよりよくしようと工夫する資質、能力が育てられるように構成されております。

生徒の学習活動への配慮に関わる観点から見ますと、内容的には3社ともに発達段階や難易度を考慮し、生徒の実践力の高まりを意識した配列がなされ、問題解決的な学習展開が重視されております。

推薦させていただきます東京書籍は、学習内容と生徒をつなぎ、さらに、人や地域、社会との共生へ結んでいくことをコンセプトに、各編の導入で自立と共生を目指す道筋を示し、生徒自身が知りたいことやできるようになりたいことを記入することで主体的な問題解決を促しています。

教育図書は、3ステップの展開で学びの定着を促す構想に配慮し、開隆堂は、自分事として捉えた生活の具体場面から課題や思考を引き出したり、多様な自立との共生の姿を示したりする工夫がそれぞれなされていました。

東京書籍の特徴としては、学習の優位性に関わって主に3点の優れた特徴があります。

1点目は、題材配列についてです。東京書籍と開隆堂は、生活の課題と実践、こちらを巻末にまとめ、内容を複合的に選択して履修できる配慮がなされている点は共通ですが、特に東京書籍は、小学校で学習した既習範囲の特に関心の高い食生活に関わる内容から、消費・環境や家族・地域へと、配列が自立から共生へのストーリーとなるよう工夫されています。教育図書・開隆堂の配列は、学習指導要領の指導事項の構成を意識し、特に開隆堂は、学習内容を時間軸と空間軸で捉え構成されていることが特徴です。

2点目は、QRコードの内容についてです。

東京書籍は、小学校家庭科や他教科の教科書紙面を確認できるQRコンテンツが充実し、系統性や教科横断的な学びの広がりを大切にしている工夫が見られます。また、友との対話を活性化し、協働的に学ぶ助けとして、このような思考ツールを活用できるダイヤモンドランキング、ウェービング、グルーピング、ベン図などの思考ツールを活用できる工夫が多くなされているのも特徴の一つです。

コンテンツ数は、教育図書は136、開隆堂は200あまりに対し、東京書籍は373と豊富であ

り、内容も動画や疑似体験シミュレーション、資料クイズ、ウェブサイトなど、用途に応じて選択できるよさがあります。

3点目は、製作実習で取り上げられている題材のよさです。教育図書の作品例は平面縫製のみの比較的容易なものになるのに対して、東京書籍は基本的な題材のほか多くのアレンジ作品の例を示しており、難易度も生徒のニーズや技能の実態に合わせて選択でき、創意工夫してアレンジできるものを取り上げられています。習得した基本を活用し、こちらにありますように調理では61題材、布を用いた製作では36題材と多くの作品例を示して、一人一人の生活実態に応じ、個別最適な学びを促しやすい工夫が見られます。

次に、学習指導への配慮についてです。

東京書籍の優れている点の1点目は、見方・考え方を意識化し、働かせる手助けが配慮されているという点です。このようなキャラクターを用いながら、家庭分野の見方・考え方の視点から生活事象を捉え、自らの問題に気づかせていく工夫が全体を通して展開されています。

2点目は、持続可能な社会の構築に向けた章を新設し、環境や家庭分野の学習とSDGsの関係を明確に示し、未来の生活を切り開く主体者として課題を見だし、考える工夫がなされていることです。今日的な課題を盛り込み、循環型社会の推進と生活の関わりが大切に扱われていました。

3点目は、これらのように分かりやすく実感が持てるビジュアルに優れた資料についてです。これら実物大の工夫は3社ともに見られましたが、特に東京書籍では折り込みページの形で5大栄養素と六つの食品群を結びつけて、視覚的に捉え、理解を促す工夫がされていました。

最後に、それぞれの全体的な特徴を申し上げます。

開隆堂は、科学的な視点で衣食住に関わる事柄の原理に触れたり、防災について詳しく扱われたりしているのが特徴です。

教育図書は、扱われる題材の難易度が示され、評価の観点が明示されている点から、指導経験の浅い指導者に扱いやすい編集であることがうかがえます。

東京書籍は、指導する教師が弾力的に、それぞれの内容に関連させながらカリキュラムを構想し、自立から共生へのストーリー性を持たせながら3年間の学びをつなぎ、探究的に紡いでいかれる可能性が高いと判断されました。

以上のようなことから、技術・家庭科（家庭分野）の教科書について、本委員会では東京

書籍を推薦させていただく結果となりました。

- 橋渡議長 ありがとうございました。

質疑に入ります。

質問、意見がありましたらご発言ください。

〔発言する者なし〕

- 橋渡議長 それでは、ただいま委員長から推薦がありました東京書籍を選定するという
ことでご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

- 橋渡議長 それでは、家庭分野は東京書籍に決定いたします。

続いて、外国語、英語は6社から教科書見本が送付されています。

報告をお願いします。

- 外国語委員長 外国語は、6社の教科書について調査研究をしました。調査の観点として、
教科目標からの配慮、小中接続への配慮、題材の内容や配列のバランス、言語活動の進めや
すさなどからです。

調査研究の結果として最も評価が高かったのは、東京書籍「NEW HORIZON」です。その理
由について、調査報告書を基に説明させていただきます。

教科の目標からの配慮、一番上にあります、4技能5領域の言語活動が偏りなく配置され、
各ユニットでは単元の見通しを持ち、新たな知識及び技能を活用しながら段階的に習得でき
るよう適切に構成されていることが挙げられます。

次に、生徒の学習活動への配慮についてでは、2の(1)小学校での学びを生かしなが
ら中学校での学習に移行ができるよう、発音とつづりの関係を含め小学校での学びを整理する単
元が設定されているということが挙げられます。具体的には「sound and letters」とい
う単語とつづりをつなげる工夫があったり、中1の初めに書くことになれるように、生徒が
比較的取り組みやすい課題を入れる工夫があったりしています。また、画像はありませんが、
ユニットゼロを各学年の移行の段階で取り入れ、学年間の接続も適切に配慮されています。

次に、2の(3)1年生で学校生活などの身近な話題、2年生で海外旅行や世界遺産、3年
生で日本文化や動物愛護、国際協力など、生徒の発達段階に応じて扱う題材の内容が広がり、
デジタル教科書でさらに興味を深められるよう工夫がなされているという点です。デジタル
教材につなげる工夫がされているのは、これは1年生ですけれども、教科書の表紙裏のペー
ジにあります。本教科書の特徴とも考えられます。

続いて、学習指導への配慮についてでは、3の(1)各ユニットにおいて、英語を聞いたり、読んだり、話したりした後に自分の考えを書くように構成されていること。3の(2)2、3年生では「単元を貫く問い」がユニットのタイトルになっており、「Unit Goal」と「Unit Activity」に向け、英語を話したり書いたりする「Activity」が段階的に適切に配列されていることであります。3の(3)「Stage Activity」では、具体的なゴールと目的や場面、状況などがともに示されており、情報を整理して、既習事項を用いながら自分の考えを表現できるように配慮されていることから、単元末の言語活動が重視されていることが言えます。採択基準1の具体的なことについて、この部分で示しています。

最後に、全体的な特色として、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、既習事項を活用しながら自分の考えや気持ちを適切に表現する力を身につけるために、言語材料を段階的に学習していく工夫がなされていること、単元の扉にゴールが設定され、巻末の「CAN-DOリスト」を活用し、自分の学習を振り返ることができるよう適切な配慮がなされていることが挙げられます

各単元でどのような授業をするのかが明確で、言語活動が工夫され、最後に単元で学んだことを振り返る構成に配慮がなされています。以上が、東京書籍の「NEW HORIZON」についての報告です。

他社の教科書について特色を報告します。

開隆堂では、新出表現導入の場面の「Scenes」は、2コマ漫画で表現をどのような場面で使うかが分かりやすく示されており、これから学ぶ新出表現に興味を持ちやすいことが特徴として挙げられています。

三省堂では、単元末活動「Goal Activity」に向け、単元内のやり取りからヒントが得られるよう構成されていること。写真やイラスト等の視覚的な工夫が多く用いられ、語句や英文の内容をより具体的にイメージできるように配慮がなされていること。

教育出版では、各パートや各単元だけでなく、年3回設定されている「Project」を通して、4技能5領域を総合的に育成できるようになっていること。

光村図書では、中学生の気持ちや伝えそうなこと、起こりそうな出来事を中心にストーリーが構成されており、言語使用の目的や場面、状況などを自分事としてイメージできるよう工夫がされていることであります。

啓林館では、各単元で4技能5領域がバランスよく指導できるように配慮がなされていること。また、各単元の構成が同じになっていることで授業の流れがつかみやすいように工夫

がなされていること、それぞれが各教科書の特徴であります。

以上のことを踏まえ、総合的に判断した上、東京書籍の「NEW HORIZON」を本委員会として推薦させていただきます。

○ 橋渡議長 ありがとうございます。

これより質疑に入ります。

質問、意見がありましたら発言をお願いします。

お願いします。

○ 佐倉委員 東筑摩塩尻校長会の佐倉です。

1点質問なのですが、小学校の英語が教科化されて、小学校でも英語の教科書採択が行われています。昨年度は松塩筑安曇地区の小学校では光村図書が採択をされていると思うのですが、私は、小中は別で考えてよいとは思っているのですが、先ほどの観点の中で、英語教育の中では小中接続ということでは非常に重視をしなければいけないと思っているのですが、教科書会社が異なるということについて調査委員会の中でそういう視点でも検討されたのか。具体的にはどの教科も小中接続ということは大事だとは思いますが、教科書が違ってよいと思っていますが、英語の場合は生徒の学びやすさを考えたときに、既習単語とか、どの教科書も配慮はされてはいるとは思っているのですが、教科書会社が違うということで何か話題になったり、検討されたことがあれば教えていただければと思います。

○ 橋渡議長 委員長。

○ 外国語委員長 実際のところ、光村図書については登場人物が小中一緒であったり、単語についての1年生のところからの配慮については、同じ会社の教科書でありますので配慮されているところであります。調査研究委員の中では、私もそういうところをポイントにして、光村図書を推す先生方の意見があるのかと思いましたが、そのような意見はあまりありませんでした。東京書籍は、1学期のところで単語を扱うのが多いという意見もあったのですが、東京書籍を継続していくことが、よいのではないかという先生方の意見が多かったので、そういう点では東京書籍が一番推薦に値すると判断をしております。

あとは、書くことについてですが、先生方の意見からは、やはり小学校は音声を中心に学んで来ているので、音声から書くところの抵抗感がとてもあることを言われていました。その点、先ほど東京書籍で書くことについて、説明が少し抽象的で分からなかったかと思うのですが、1年生の初めのところのパート1、パート2、パート3では、しっかりと誰でも書けるような課題が示されているので、そういう点では、それが全てではない

のですけれども、東京書籍も書く点についてはとても配慮していると判断をさせていただきました。

○ 橋渡議長 他にございますか。

○ 青柳委員 塩尻市学識経験者の青柳です。

現行の教科書は、長野県内で多分4社に分かれていると思うのです。それだけ教科書が拮抗していると思っていて、今の説明で東京書籍の「NEW HORIZON」がよいということはよく分かったのですが、私も特にその4社については見てみて、確かに東京書籍は単元を貫く問いがあったり、課題解決しながら学べると感じたのですが、他の教科書会社にもそれぞれセールスポイントがあるかと思って、簡単に説明されていたのですが、その中で東京書籍にした決め手を話し合われて、特に優れていた点がありましたら教えていただければと思います。

○ 外国語委員長 どの教科書も検定を通過しておりますので、どの教科書を使ってもよいのだと思います。光村図書は、中学生にとって比較的身近な話題であっても、話題の広がりがないというような意見がありました。開隆堂については、先ほども言った「Scenes」が入っていて、生徒たちが言語活動に取り組みやすいというようなよさがありました。そういう点で、東京書籍、三省堂、開隆堂、光村図書あたりは、調査研究委員の先生方からも同じ位ではないかというような意見がありました。でも、最終的には東京書籍なのですけれども、デジタルコンテンツにつなげる、表紙の裏の「デジタルマップ」というのがあり、委員会でもいろいろ意見があったのですけれども、デジタルにつなげるというところ、コンテンツの内容は判断の材料にはしてはいないのですけれども、「デジタルマップ」があることで、子どもたちがここを目指して、自分で学習できるという工夫が多くなされていることは東京書籍のよさとして考えられているところです。

○ 青柳委員 ありがとうございます。

○ 橋渡議長 他にございますか。

はい、どうぞ。

○ 小柳委員 松本市の教育委員の小柳でございます。

二つお願いします。

一つは、教科の目標からの配慮で、異文化理解に触れながら記述されている点です。外国語教育ということでは大事にしなければいけない内容だと思うのですが、東京書籍、開隆堂、三省堂、光村図書については報告書で、異文化理解のことについて触れていますが、啓林館については触れていません。啓林館の教科書はそういう立場をとっていないのか、調査内容

を教えてくださいたいと思います。

もう一つは、小学校との連携についてです。東京書籍、開隆堂、三省堂、光村図書についてはそれぞれ報告書では小中の連携について記述があります。再度お聞きしたいのですが、その中で東京書籍が小から中への連携において最もよいと調査された理由を教えてください。

○ 橋渡議長 委員長。

○ 外国語委員長 啓林館についてもいろいろな題材がありまして、異文化理解等々含まれておりますので、報告書には書いてありませんが、それを基にして選定しなかったという判断にはなっていないと思います。

続いて、小中の接続についてでありますけれども、先ほど来からお話しさせていただいた東京書籍では、単語とつづりの「sound and letters」というのが、単元を終わった後、数回、1年生のところで入っていますので、そういう点で単語とつづりを丁寧に扱っていると思いますし、書くことについて、比較的書きやすいところがパートごと、1年のところでは位置づけてありますので、先生方が丁寧に扱っていけば、その接続というのはよいという判断をさせていただいております。

○ 小柳委員 ありがとうございます。報告書を見てみますと、今の説明で啓林館についても異文化理解の立場はあるのだということが分かりましたけれども、実際にこの報告書に記述されていないと、啓林館にはそういう立場がないと読み取られてしまい、他の教科書とレベルと違って見劣りするよう判断される気がします。今の説明をきくと分かりますが、この記述ではたしてよいのだろうかという感想を持ちました。

○ 橋渡議長 ありがとうございます。

他の点でございますか。

〔発言する者なし〕

○ 橋渡議長 それでは、ただいま委員長から推薦がありました東京書籍を選定するというところでご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○ 橋渡議長 それでは、外国語は東京書籍に決定いたします。

ありがとうございます。

最後に、道徳は7社から教科書見本が送付されています。

それでは、報告をお願いします。

○ 道徳委員長 道徳科という教科の性質上、委員一人一人の考え方及び道徳的価値について

きちんと理解した上で調査を始めようと思いました。学習指導要領、道徳教育及び道徳科の目標について調査研究委員全員で確認し、調査を始めました。

また、調査する上で大切にしたい視点として、道徳科の目標等に合わせながら自己をみつめる、物事を広い視野から多面的・多角的に考える、人間としてのよりよい生き方、学んだことを育みながら道徳的な判断力をつける、心情を大事にし、実践意欲を育てるところを確認させていただきました。

この視点を、より具体的に各教科書を見ていくときに捉えた内容は、生徒の発達段階に応じた問いや学習活動、自分事に関わる問いや学習活動、多面的・多角的な視点に関わる学習活動、学習のまとめ、振り返りになります。

以上を基に調査した結果、本委員会では光村図書の「きみがいちばんひかるとき」を推薦します。

それでは、光村図書について5点に絞って説明します。

1点目として、教科の目標からの配慮では、道徳的価値に迫ることができる教材や問いが複数あります。自分事として学びを深めることができます。

2点目、3点目として生徒の学習活動への配慮では、発達段階に応じて深めたいテーマを定め、複数のユニット学習を組み込みながらテーマに向かって学習することができます。また、自分事として捉えることができる場面を教材化したり、見方や考え方を変え、多面的・多角的に捉えたりすることができる問いや学習活動が適切に配置されています。

4点目、5点目は学習指導への配慮として、題材の充実により教師が創意工夫して授業を構想できるよう配慮されています。また、生徒の学びの記録が1時間、1年間と簡潔に書きやすく、見やすく整理できる構成となっていて、生徒一人一人が自身の成長を実感しやすい点があります。

そして、これは光村図書だけではなく各社に共通していたことですが、人権、命、いじめ等に関わる教材や問題を取り上げ、知識を身につけるだけでなく、自分や他者と協働しながら実践意欲を育てるような構成がされていました。

光村図書以外の出版社の工夫されていた点について触れていきます。

東京書籍では、生徒の興味・関心を高めるように絵や写真等を豊富に使い、考えるための手がかりを工夫していました。

教育出版では、教材の初めに本質的な問いを設け、日常生活や同様の場面と道徳的価値を結びつける工夫がされていました。

日本文教出版では、生徒が興味を持ちやすい教材を使い、さらに自分に返すための発問、「自分に＋１」を配置し、自分事として考える工夫がされていました。

学研では、教材名の上にあえて主題名を書かないことで、生徒が多様な考えを持ちながら学習を進めていくことができる工夫がされていました。

あかつき教育図書では、各学年三つの教材に「マイ・プラス」というものを配置し、その中で問題解決的な学習や体験的な学習ができる工夫がされていました。

日本教科書では、３年間、共通の登場人物を生徒の発達段階に応じて描く教材を掲載し、生徒自身が自分を登場人物に置き換えて考えることができる工夫がされていました。

最後になりますが、改めて本委員会では、光村図書の「きみがいちばんひかるとき」を推薦します。

これは蛇足ですが、松塩筑安曇地区では小学校の道德の教科書が光村図書になっています。小学校での学びがどう中学校につながるかについて簡単にお伝えします。

まず、小学校６年生の３学期の題材には、感謝、働く、夢ということで中学校につながる期待が描かれていました。また、中学校の教科書の中に小学校で学習した題材が入っています。中学生になって発達段階が変わったことによって、自分自身をもう一度学び直すことができる工夫もされていました。

○ 橋渡議長 ありがとうございます。

これより質疑に入ります。

質問、意見がございましたら発言をお願いします。

〔発言する者なし〕

○ 橋渡議長 それでは、ただいま委員長から推薦がありました光村図書を選定するというところでご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○ 橋渡議長 それでは、道德は光村図書に決定いたします。

以上で、16種目全ての教科用図書の選定を終了いたしました。

最後に、本協議会は開かれた採択とするため、保護者代表、そして学識経験者の皆様に委員として参加していただきました。

最後に恐縮ですが、一言ずつ感想をいただきたいと思います。

矢野委員からお願いできますでしょうか。

○ 矢野委員 保護者代表、松本市PTA連合会の矢野と申します。

子どもたちのよりよい学びのために各社様々な特徴や工夫がある中で、最善の教科書を選定していただき、保護者を代表して感謝を申し上げます。

今回、デジタルコンテンツを使ったQRコードを使った学びというものが多くありましたので、1人1台学習用端末を使って楽しく学んでほしいと感じました。デジタルコンテンツも、全ての答えを出してしまうものや必要な部分だけ子どもたちに考えさせるというものがあり、とても勉強になりました。選んでいただいた教科書によって、子どもたちが意欲的、主体的に探究的な学びができると思います。

本日はありがとうございました。

- 塩原委員 保護者代表で塩尻市PTA連合会の塩原です。

展示会場に実際に行って、並んでいる教科書を見させていただいたのですけれども、まず数の多さに驚いて、その一つ一つを詳しく調査していただいて、分かりやすくまとめたいただき本当にありがとうございます。

子どもたちに配られる教科書にもそれぞれ工夫がされていて、特徴があることを知れて、とても勉強になりました。音楽などQRコンテンツでいろいろなことができることにとても驚いて、これから中学生に上がる子どもたちがとても楽しく勉強ができることが知れてよかったです。

今日は本当にありがとうございました。

- 佐野委員 東筑摩郡保護者代表の佐野です。

今まで教科書に対して何の気なしでいたのですけれども、調査研究委員の先生方が大変苦勞して選んでもらったということが分かりました。私が中学生の頃からもう40年たっているのですけれども、40年前の教科書とは全然内容が違っているということがよく分かりまして、家へ帰ったら、子どもの教科書をしっかり見てみようと思います。ありがとうございました。

- 小山（茂）委員 信州大学の小山です。今日はどうもありがとうございました。

いろいろ調査していただいて、この結果で教科書の採択が進んでいくものと思いますけれども、自分自身が別の仕事で教科書会社にいろいろと教科書を作るに当たって、答申を出している立場で考えていくと、やはり今回デジタル教科書絡みがいろいろ増えてきている中で、調査研究委員として教科書を見ていただいたことを、調査研究委員の立場は言えないですけれども、同僚の先生方に、教科書というのはこのように使っていけばよいというところを広く周知していただき、一緒に考えていただければありがたいと思います。

ちなみに、私が関わっている教科書センターでは、小学校の先生方、中学校の先生方に改

めて教科書をどう使ったらよいかということが話題になっていて、全国規模でそのような冊子を作ってもらいたいという要望があるので作ったら、発行部数が足りなくなって今回は販売しているという状況になっています。そのようなことも含めて、今回出てきた成果をそれぞれの立場でうまく広げていただけたらありがたいと思いました。どうもありがとうございました。

- 青柳委員 中学校の教科書はあまり読んだことがなかったのですが、今回読ませていただいて、見方・考え方、小学校の教科書はそんなに前面に押し出してはいないのだけれども、中学校の教科書自体が見方・考え方というものを前面に意識させるようになっていることに少し驚きを感じました。読みやすくなっていて、子どもも先生方も取り組みやすくなっているので、選ぶ委員の先生方はとても大変だったのだろうと感じながら教科書を読みました。ありがとうございました。

- 川北委員 安曇野市の川北です。

大変お忙しい中で調査していただいて、本当にありがとうございました。今回初めてこのような委員になりまして、教科書をたくさんの中、本当に読み切れなくて、何日もかけて通って全部の教科書を見させてもらったのですが、本当に今、新しくデジタルコンテンツも入っていて、いろいろ変わっている中で、それぞれの特色を本当に細かくまとめていただきありがとうございました。すごく分かりやすかったです。そのような中で、生徒にふさわしい教科書が選べて本当によかったと思います。ありがとうございました。

先生方の大変な業務の中で、このような調査をしていただく環境が、よりよくなるように考えてほしいと思います。ありがとうございました。

- 高山委員 東筑摩郡の高山と申します。

本当に調査委員会の先生方のお仕事をされている中のこのご苦労、そして、報告をされた委員長の先生方の分かりやすい、そして、質問に対しても明確なお答えをされ、そこまで検討を十分にされたというご苦労に本当に心から感謝を申し上げたいと思います。

また、何て親切なすてきな教科書になってきたのだ、だから、教師の指導力の向上が、指導力に多少差があってもそれを補ってくれる教科書になってきたのか、使いこなしにくい教科書になったのか、それはこれからを楽しみにしていきたいと思います。どうもありがとうございました。

- 橋渡議長 どうもありがとうございました。

それでは、以上で協議事項1の協議を終了いたします。

各教科等の調査研究委員長をはじめ委員の皆さんには、短期間の中にもかかわらず、適正かつ公正な調査研究を行っていただきました。改めて感謝申し上げます。

それでは、調査研究委員長の皆様方のご退席いただきます。本日は大変お疲れさまでございました。

〔調査研究委員長 退席〕

- 橋渡議長 それでは、協議事項２の情報公開日の基本的な考え方を議題といたします。
- 事務局 情報公開日の基本的な考え方について、資料の３ページをご覧ください。

本協議会の情報公開につきましては、協議会委員名簿、協議会会議録（抄本）、調査研究会の報告書、選定結果を情報開示日に合わせて安曇野市のホームページに公開する予定です。調査研究委員の名簿につきましては情報公開の対象になりますが、ホームページには掲載を行わず、請求があった場合のみ安曇野市の情報公開請求の手に従い請求者に開示します。

教科用図書の無償措置に関する法律施行令の規定により、採択事務の終了日は８月３１日までになっていることから、県教育委員会では、採択基準、調査の観点等、内容に関するものについては８月３１日まで非公開とし、採択結果につきましては８月下旬の教育委員会で採択を公開する予定ということです。

他の採択地区の協議会の状況につきましては、おおむね県と同様、採択基準や調査の観点等、採択の内容に関わるものについては協議会の事務局が９月１日以降に情報公開を行い、その構成市村の採択結果につきましては、各教育委員会において公開日が異なるようです。

市町村の対応に関する長野県教育委員会の見解としましては、採択地区や各市町村の教育委員会の実情に応じて、それぞれ採択に関する情報公開日を決定されたいということでした。以上のことから、本協議会の採択事務の終了日は８月３１日とし、内容に関する情報開示につきましては９月１日以降にしたいと考えております。

また、教育委員会の採択結果につきましては、それぞれの教育委員会の判断にお任せし、９月１日以前に開示することは問題ないと考えます。

なお、内容に関する情報公開は、事務局である安曇野市が窓口となり対応しますので、各市村の教育委員会におかれまして９月１日を過ぎるまでの資料の取扱いについては十分ご留意をお願いいたします。内容に関わる問い合わせが出版社や報道機関からあった場合には、事務局である安曇野市教育委員会学校教育課に問い合わせをするように回答いただくようお願いいたします。

- 橋渡議長 ただいまの説明に対して、何か質問等はございますか。

〔発言する者なし〕

- 橋渡議長 それでは、説明がありましたとおり、当協議会の採択事務に係る情報公開日の窓口等を改めて確認をしていただきました。

全体を通して何か質問等がございますか。

〔発言する者なし〕

- 橋渡議長 それでは、これで全ての協議事項を終了いたします。
議長の任務を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

- 事務局 橋渡会長、各委員の皆様、大変お疲れさまでございました。

以上をもちまして令和6年度第2回松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会を閉会とさせていただきます。

本日は長時間にわたりましてご協議いただきまして、誠にありがとうございました。